

各種アンケート調査結果 概要版

— 目次 —

	頁
第 1 章 コミバス等利用者アンケート調査結果	1
第 2 章 路線バス利用者アンケート調査結果	3
第 3 章 北条鉄道利用者アンケート調査結果	5
第 4 章 高齢者利用者アンケート調査結果	9

第1章 コミバス等利用者アンケート調査結果

1.1 調査概要

- ・本調査は、加西市を運行するコミュニティバス等の利用者に対して利用状況や利用意向をヒアリングし、利用実態を把握することを目的として実施した。
- ・回収数は、「ねっぴ〜号（市街地線）」が 43 票、「ねっぴ〜号（国正線）」が 9 票、「ねっぴ〜号（九会線）」が 13 票、「ねっぴ〜号（フラワーセンター線）」が 13 票、「ねっぴ〜号（sora かさい線）」が 6 票、「はっぴーバス」が 31 票、「宇仁ふれあいバス」が 13 票、「日吉地区乗り合いタクシー」が 15 票で、計 143 票となっている。

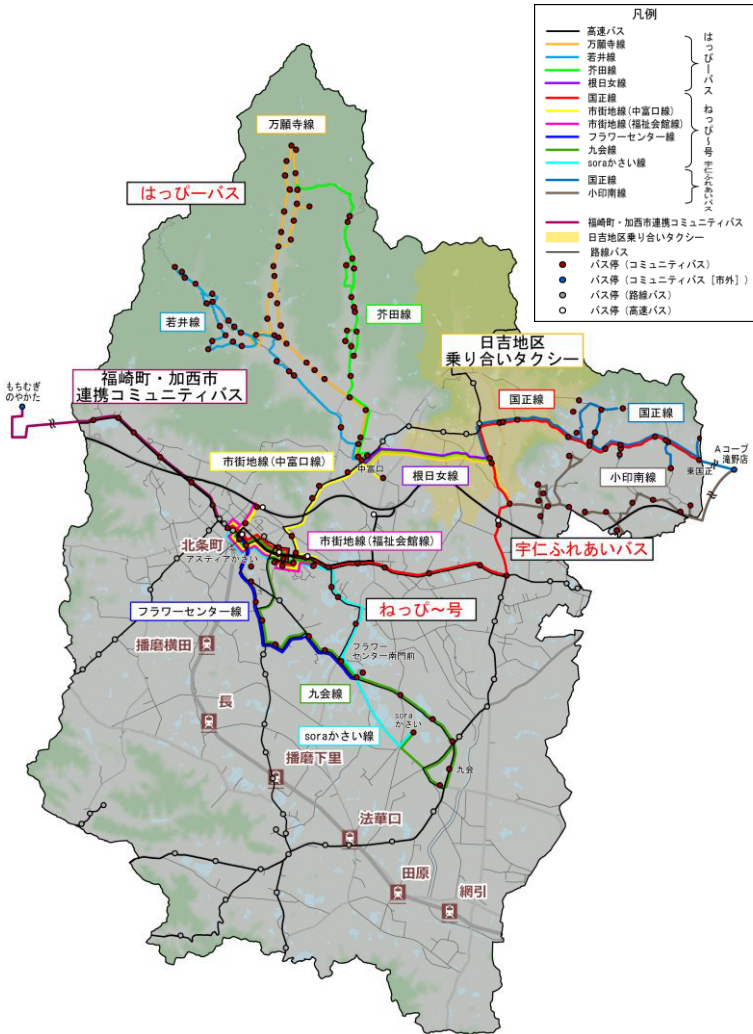
< 調査概要 >

調査対象バス		調査日	調査時間
ねっぴ〜号	市街地線 国正線 九会線 フラワーセンター線	令和 3 年 10 月 19 日（火）	始発から終発までの全便 （概ね 7：30～19：30）
	sora かさい線	令和 4 年 7 月 18 日（月・祝）	始発から終発までの全便 （概ね 9：00～16：30）
はっぴーバス		令和 3 年 10 月 20 日（水）	始発から終発までの全便 （概ね 7：30～17：00）
宇仁 ふれあいバス※1	国正線	令和 3 年 10 月 19 日（火）	始発から終発までの全便 （概ね 8：00～16：30）
	小印南線	令和 3 年 10 月 20 日（水）	始発から終発までの全便 （概ね 8：00～16：30）
日吉地区乗り合いタクシー※2		令和 4 年 7 月 11 日（月）～ 令和 4 年 7 月 26 日（火）の 平日 11 日間	8：00～16：00（運行時間）

※1 宇仁ふれあいバスについては、票数が少なかったことから、宇仁郷まちづくり協議会の協力のもと、運転手による調査票配布による調査を追加で実施（令和 3 年 11 月 1 日（月）～5 日（金）まで [3 日（水）の祝日は除く]）

※2 日吉地区乗り合いタクシーについては、運転手により調査を実施

< コミュニティバス等の概要 >



系統名		運行日	運行時間	運行本数
ねっぴ〜号	市街地線	月曜日～金曜日 の毎日運行 （土・日・祝は運休）	8時18分～ 17時36分	23便
	国正線		7時30分～ 15時25分	4便
	九会線		7時58分～ 13時31分	5便
	フラワー センター線		7時45分～ 19時28分	8便
	sora かさい線	土・日・祝の休日 （平日は運休）	9時28分～ 16時25分	12便
はっぴーバス	万願寺線	月曜日～金曜日 の毎日運行 （土・日・祝は運休）	7時41分～ 16時27分	6便
	芥田線		7時51分～ 16時40分	5便
	若井線		8時20分～ 16時30分	6便
	根田女線	水曜日のみの運行	8時25分～ 12時52分	5便
	国正線	火曜日・木曜日 のみ運行	8時20分～ 16時30分	7便
宇仁 ふれあいバス	小印南線	月曜日・水曜日 のみ運行	8時20分～ 16時31分	7便
	日吉地区 乗り合いタクシー	月曜～金曜の平日 （土・日・祝は運休）	8時00分～ 16時00分	—

< 系統別の回収状況 >

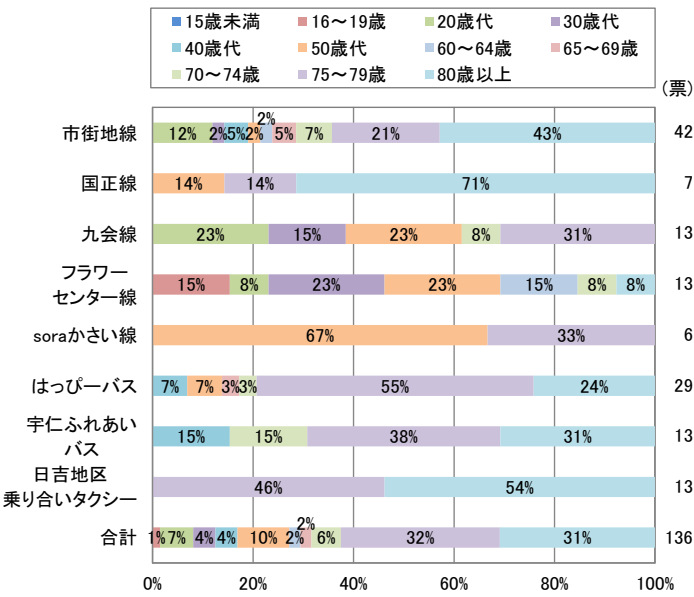
系統		回答者数 （人）	縦構成比
ねっ ぴ〜 号	市街地線	43	30%
	国正線	9	6%
	九会線	13	9%
	フラワーセンター線	13	9%
	soraかさい線	6	4%
はっぴーバス		31	22%
宇仁ふれあいバス		13	9%
日吉地区乗り合いタクシー		15	10%
合計		143	100%

1.2 調査結果

(1) 利用者の主な属性

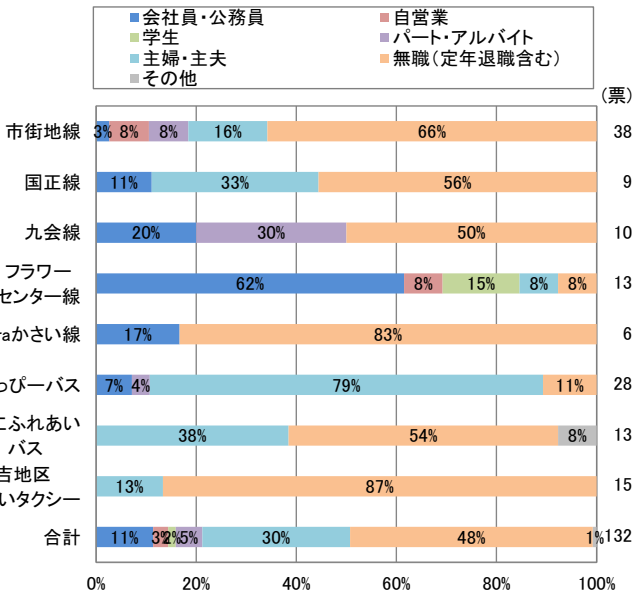
- ・コミバス等利用者は半数以上が 75 歳以上の高齢者となっているものの、ねっぴ〜号の九会線やフラワーセンター線、sora かさい線では、50 歳代以下の利用の方が多くなっている。
- ・また、コミバス利用者の職業は、「主婦・主夫」や「無職」など定職に就いていない方が多くなっているものの、ねっぴ〜号のフラワーセンター線では、「会社員・公務員」が半数以上と多くなっている。

< 年齢 >



※ 未回答・不明 7 票除く

< 職業 >

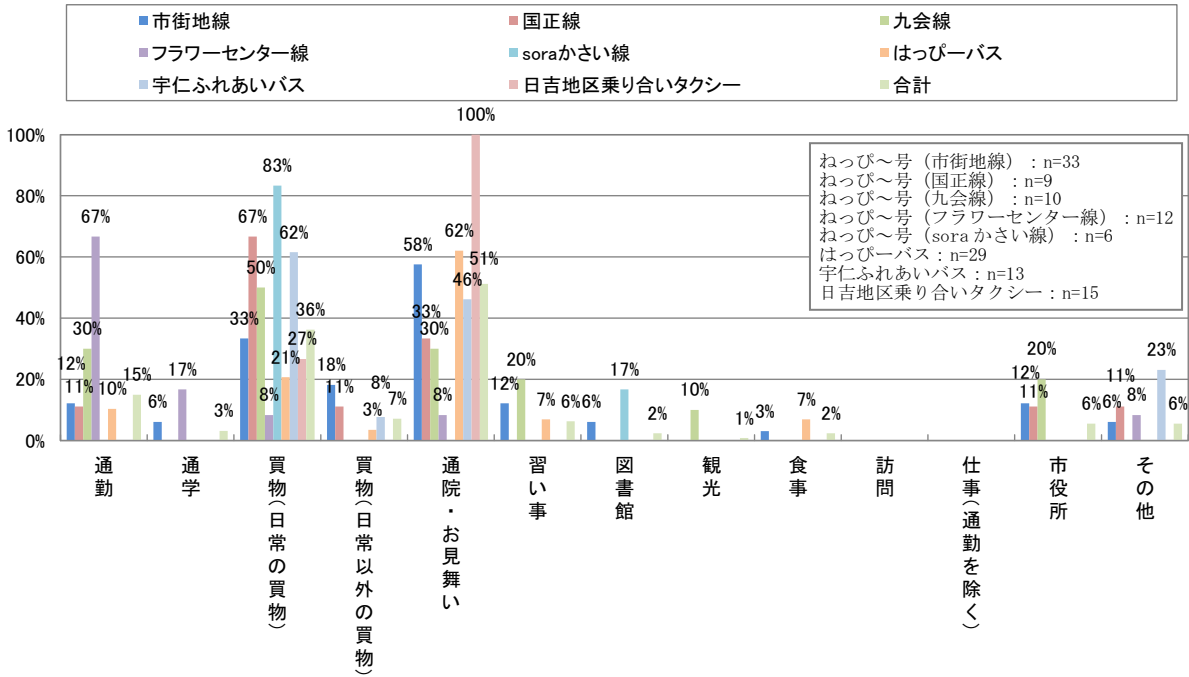


※ 未回答・不明 11 除く

(2) 移動目的

- ・コミバス等利用者の移動目的は、ねっぴ〜号の市街地線やはっぴーバス、日吉地区乗り合いタクシーでは「通院・お見舞い」、ねっぴ〜号の国正線・九会線・sora かさい線、宇仁ふれあいバスでは「買物」、フラワーセンター線では「通勤」目的での利用が多く見られる。

< 移動目的 >

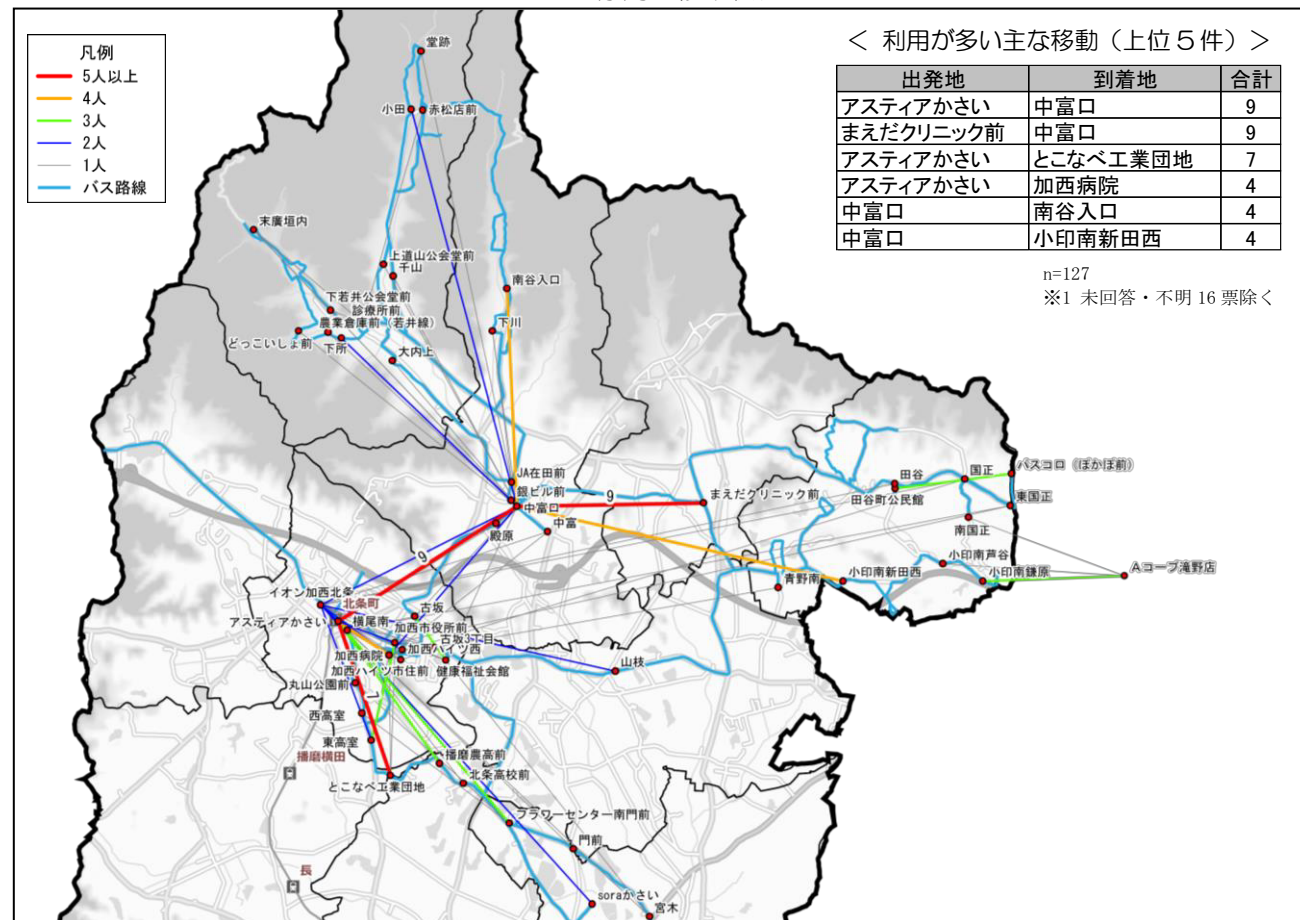


※ 複数回答
※ 未回答・不明 16 票除く

(3) バス停間の移動状況

- ・コミバス等を利用した移動状況としては、「ねっぴ〜号」「はっぴーバス」「宇仁ふれあいバス」の交通結節点である「中富口」バス停を中心とした流動が多くなっており、商業施設が多く立地する「アスティアかさい」バス停や加西病院がある「加西病院」バス停への流動も多くなっている。

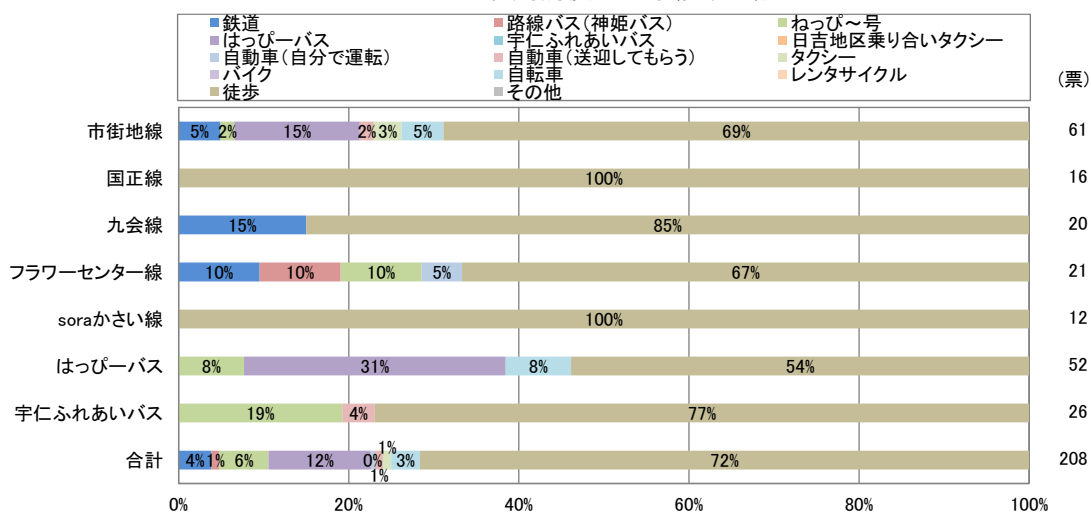
< バス停間の移動状況 >



(4) バス利用前後の主な移動手段

- ・コミバス等利用者のバス利用前後に利用する主な移動手段は、大半が徒歩と多くになっているものの、はっぴーバスでは同バス相互の乗換やねっぴ〜号の市街地線では「はっぴーバス」、九会線やフラワーセンター線では「鉄道」、宇仁ふれあいバスでは「ねっぴ〜号」への乗換も多くなっている。

< バス利用前後の主な移動手段 >

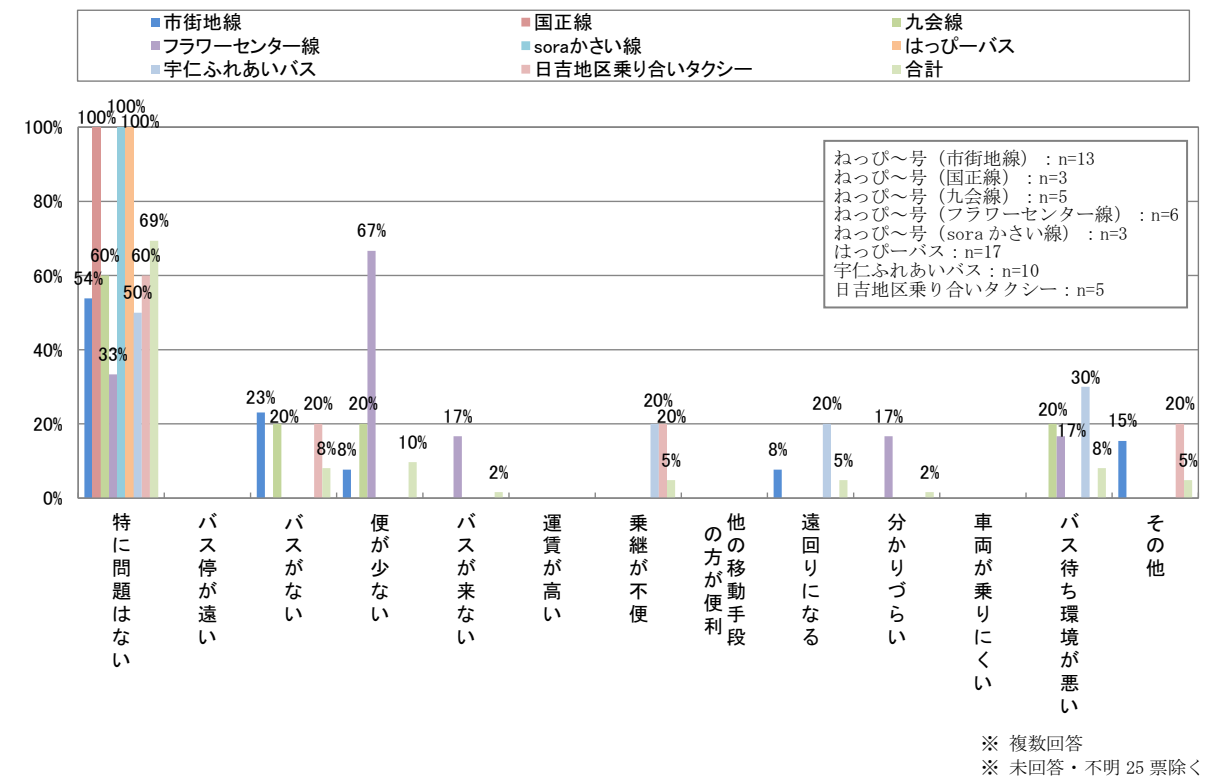


主な移動手段は、複数の回答がある場合に、輸送力の高い手段（鉄道→バス→自動車→二輪車→自転車→徒歩）を選んでいきます。

(5) コミバス等利用にあたる問題点

- ・コミバス等利用者のバスを利用する際に感じる問題点は、半数以上の方は「特に問題ない」という回答が多かったものの、ねっぴ〜号のフラワーセンター線では「運行便数が少ない」、宇仁ふれあいバスでは「バス待ち環境が悪い」という回答も多くなっている。

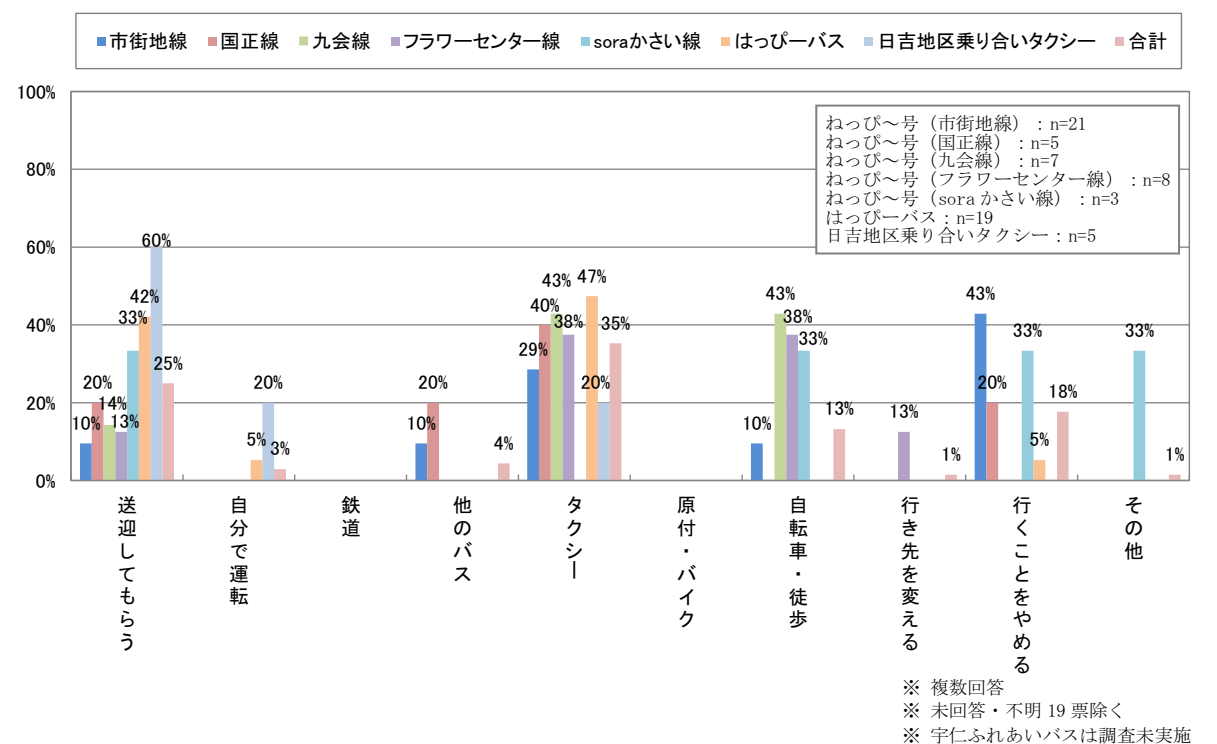
< コミバス等利用にあたる問題点 >



(6) コミバス等が無かった場合の移動手段

- ・コミバス等利用者の現在運行しているバスが無くなった場合の移動方法は、合計で見るとタクシーが多くなっているものの、送迎してもらう方やそもそも目的地へ行くのをやめる方も多くなっている。

< コミバス等が無かった場合の移動手段 >



第2章 路線バス利用者アンケート調査結果

2.1 調査概要

- ・本調査は、加西市を運行する路線バスの利用者に対してバスの利用状況や利用意向をヒアリングし、利用実態を把握することを目的として実施した。
- ・回収数は、「平日」が45票、「休日」が27票で、計72票となっている。

＜ 調査概要 ＞

調査対象バス停	調査日	調査時間
アスティアかいバス停	平日：令和4年7月13日（水） 休日：令和4年7月18日（月・祝） 計2日	7：00～19：00 （12時間調査[利用が特に多い時間帯]）

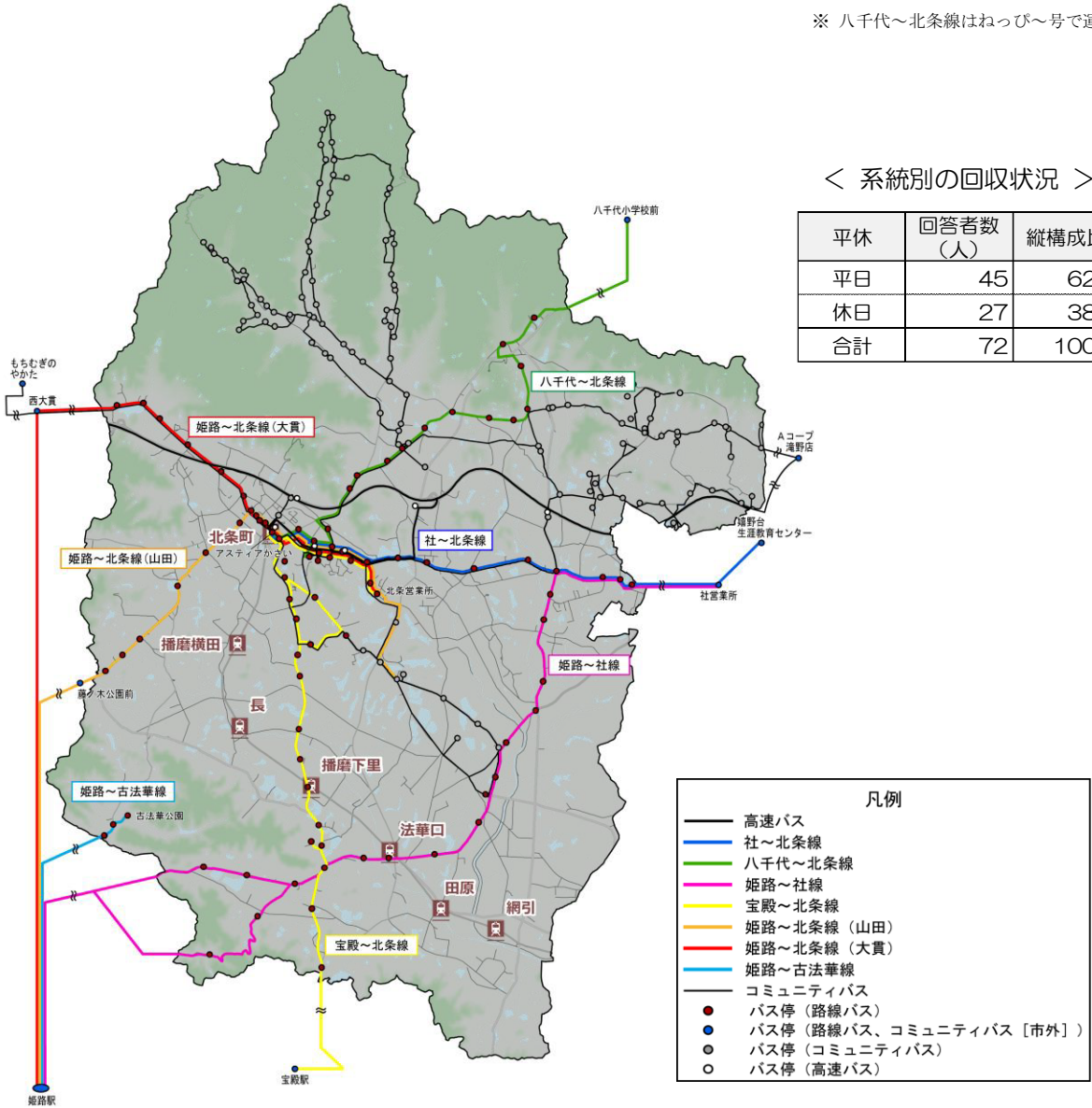
＜ 路線バス等の概要 ＞

調査対象バス系統	運行日	運行時間	運行本数
八千代～北条線*	月曜～金曜の平日（土・日・祝は運休）	7：20～16：29	4便
姫路～北条線（山田経由）	毎日運行	平日：5：27～23：30 休日：5：35～23：31	平日：28便 休日：25便
姫路～北条線（大貴経由）	毎日運行	平日：6：41～20：45 休日：6：49～19：17	平日：13便 休日：9便
社～北条線	月曜～金曜の平日（土・日・祝は運休）	7：16～18：29	5便
宝殿～北条線	毎日運行	平日：6：05～19：51 休日：6：50～17：17	平日：11便 休日：6便

※ 八千代～北条線はねっぴ～号で運行

＜ 系統別の回収状況 ＞

平休	回答者数（人）	縦構成比
平日	45	62%
休日	27	38%
合計	72	100%

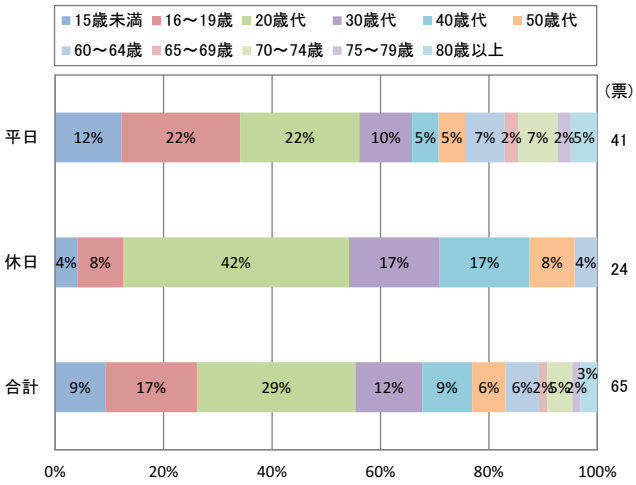


2.2 調査結果

(1) 利用者の主な属性

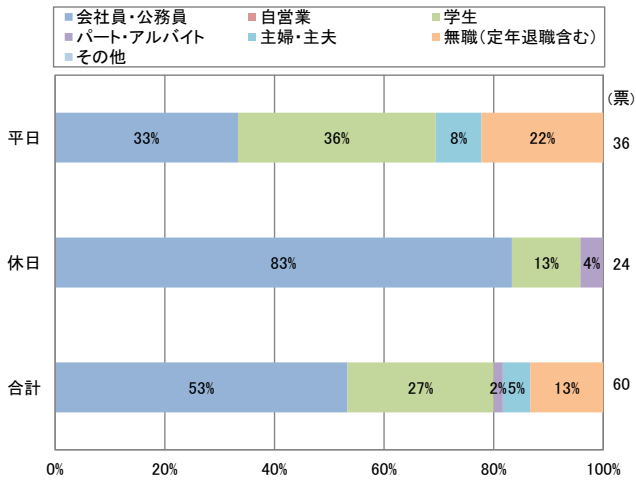
- ・路線バス利用者は20歳代が多くなっているが、平日では20歳未満、休日では30～40歳代の利用も多くなっている。
- ・また、路線バス利用者の職業は、半数以上が「会社員・公務員」の利用となっているものの、平日では「学生」や「無職（定年退職含む）」の利用も多くなっている。

＜ 年齢 ＞



※ 未回答・不明7票除く

＜ 職業 ＞

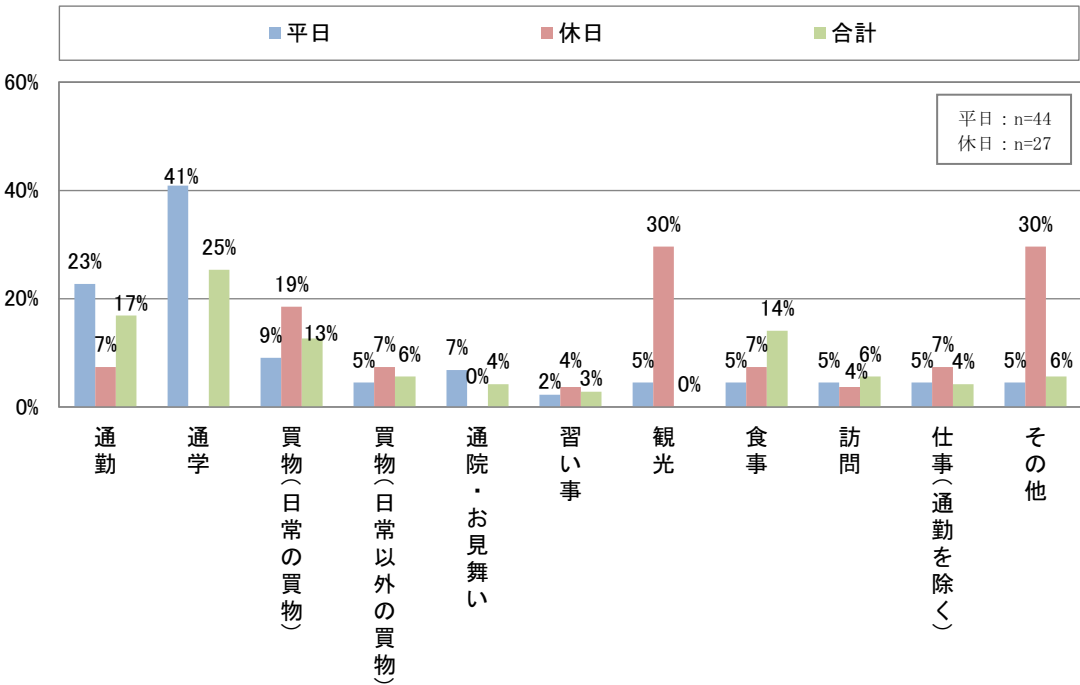


※ 未回答・不明12除く

(2) 移動目的

- ・路線バス利用者は平日では「通学」や「通勤」の利用が多くなっているが、休日では「観光」「買物」の利用も多くなっている。

＜ 移動目的 ＞

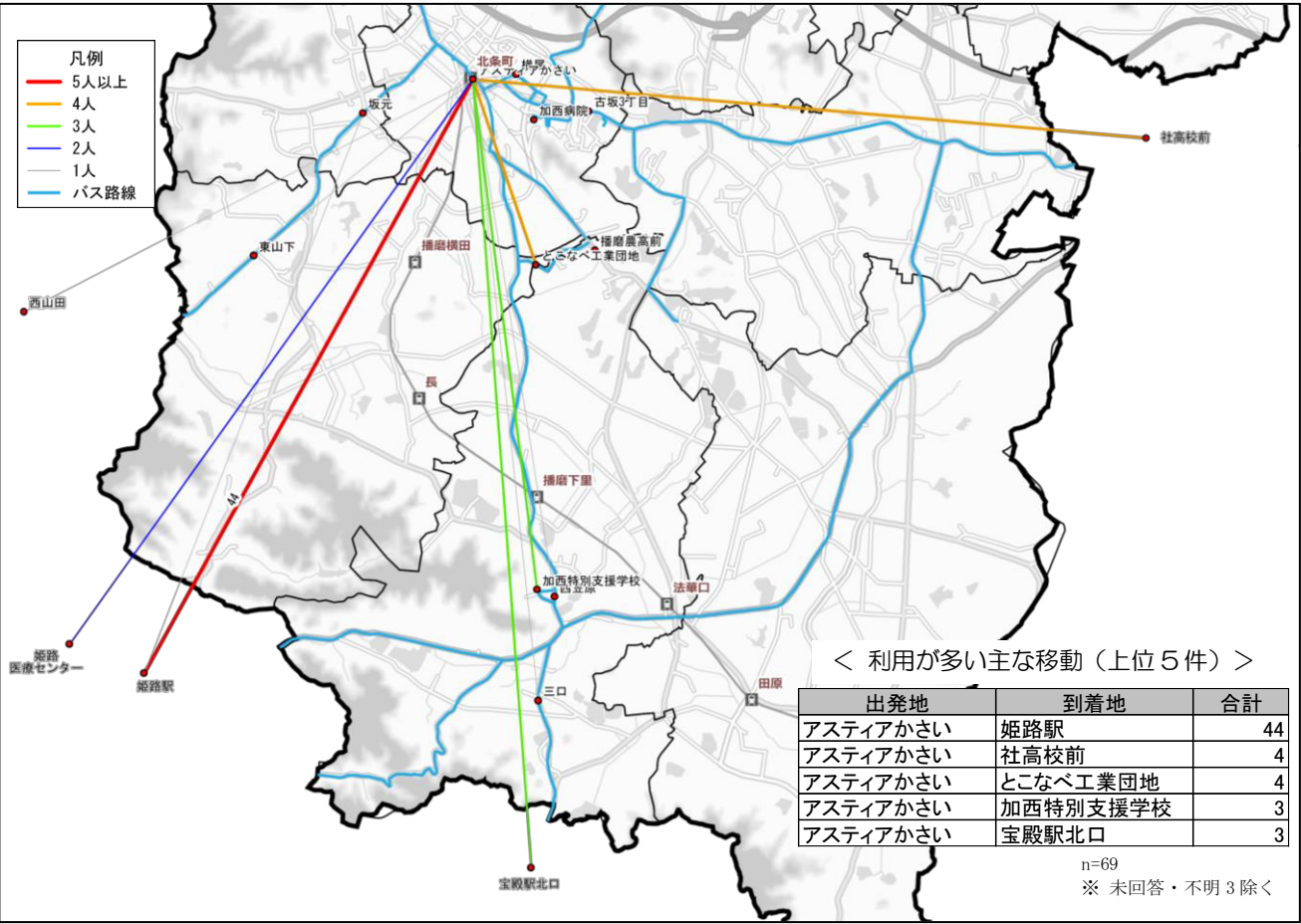


※ 複数回答
※ 未回答・不明1票除く

(3) バス停間の移動状況

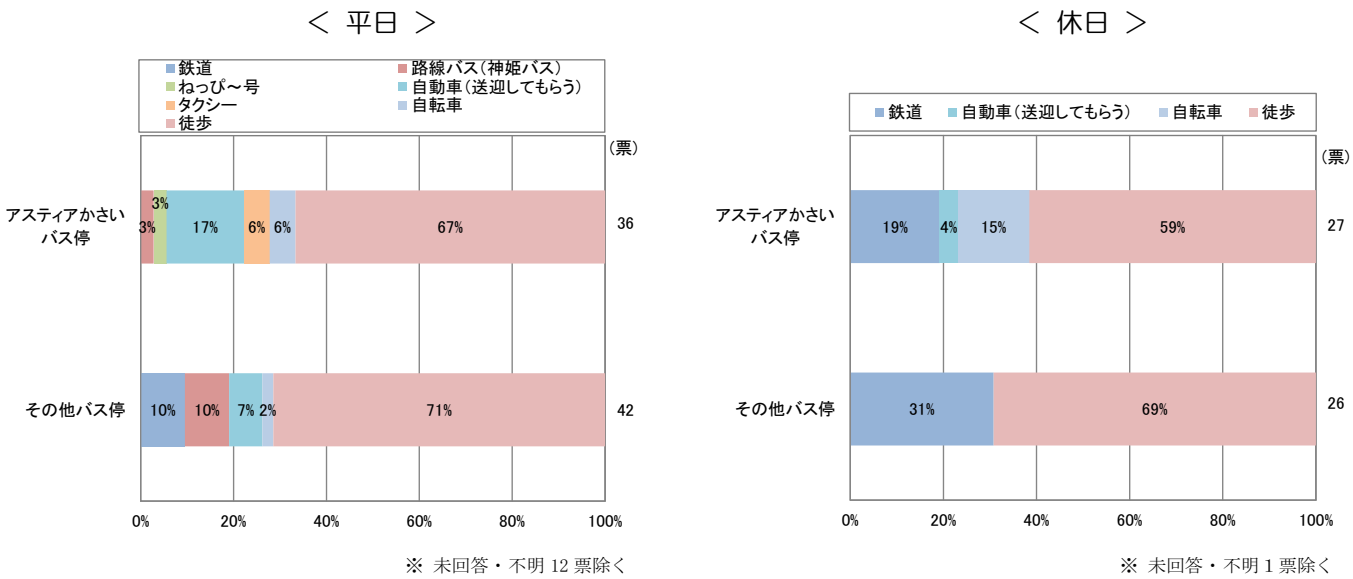
・アスティアかさいバス停を利用する方の移動状況としては、「姫路駅」バス停や「社高校前」バス停、「とこなべ工業団地」バス停の利用が多く、企業や学校などが近くにあるバス停であり、通学・通勤で利用されている。

＜ バス停間の移動状況 ＞



(4) バス利用前後の主な移動手段

・路線バス利用者のバス利用前後に利用する主な移動手段は、半数以上の方が「徒歩」となっているものの、アスティアかさいバス停においては、平日では「送迎」、休日では「鉄道」や「自転車」の利用も多くなっている。

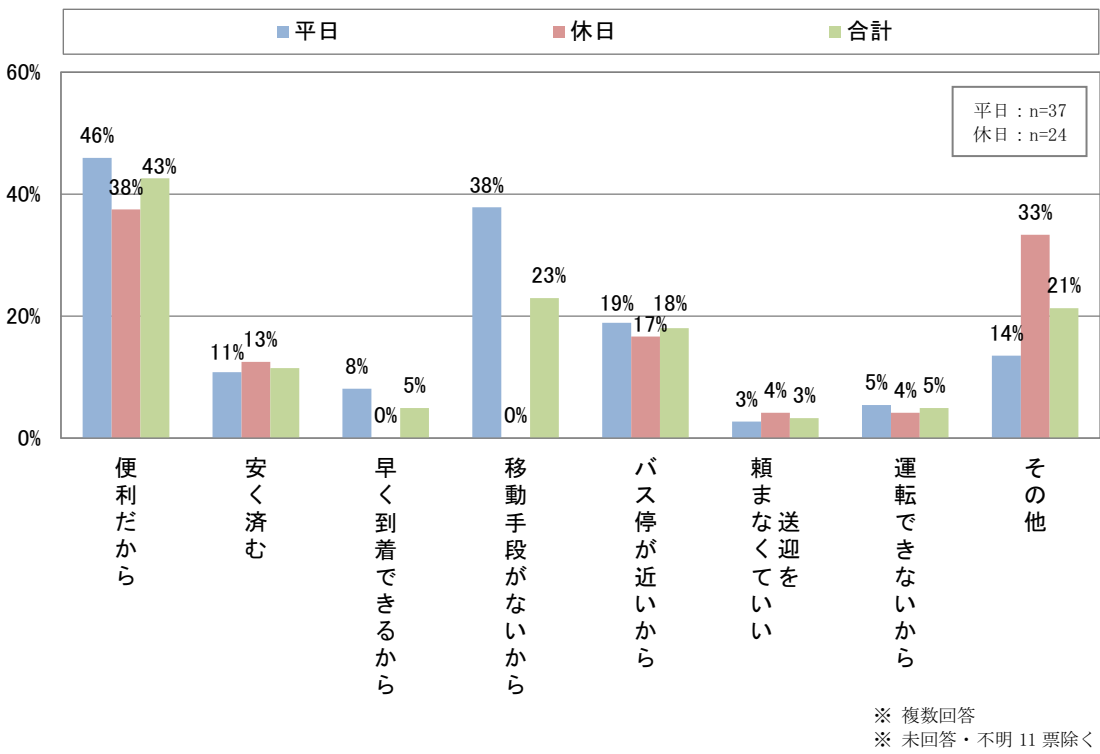


主な移動手段は、複数の回答がある場合に、輸送力の高い手段（鉄道→バス→自動車→二輪車→自転車→徒歩）を選んでいきます。

(5) 路線バスを利用する理由

・路線バス利用者のバスを利用する理由は、「便利だから」という回答が多かったものの、平日では「移動手段がないから」、休日では「バス停が近いから」という回答も多くなっている。

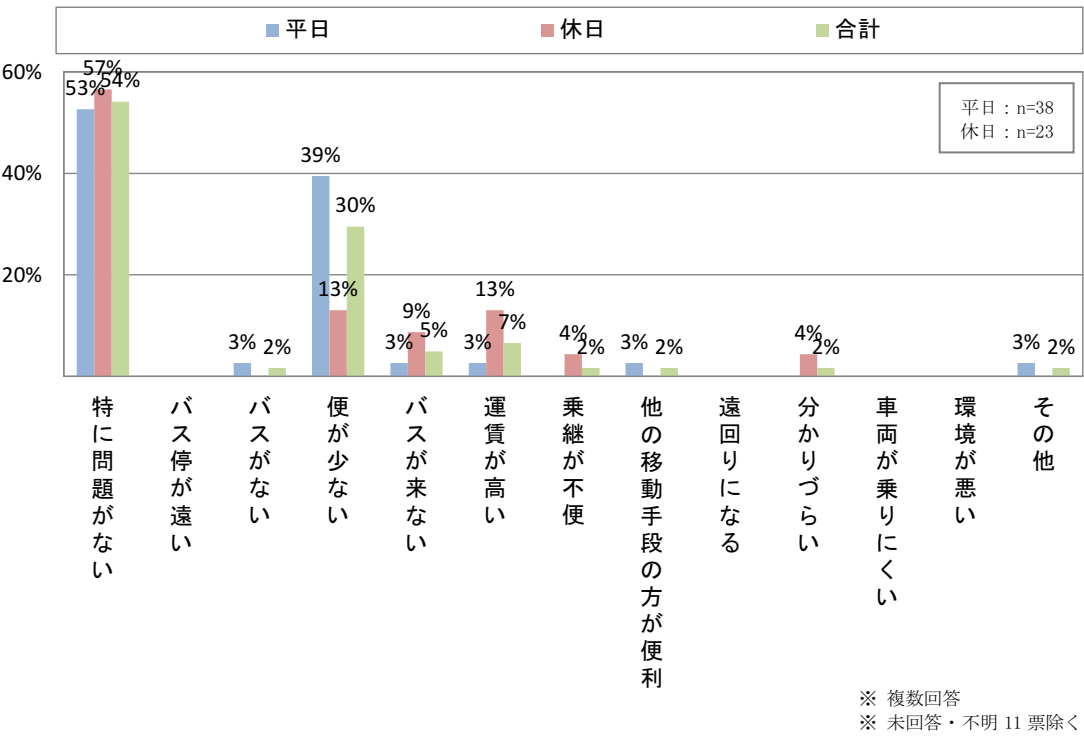
＜ 路線バスを利用する理由 ＞



(6) 路線バス利用にあたる問題点

・路線バス利用者のバスを利用する際に感じる問題点は、半数以上の方は特に問題ないという回答であったものの、平日では「運行便数が少ない」という回答も多くなっている。

＜ 路線バス利用にあたる問題点 ＞



第3章 北条鉄道利用者アンケート調査結果

3.1 調査概要

- ・本調査は、統計データや既存調査データだけでは把握できない鉄道利用者の詳細な利用状況を把握することを目的として実施した。
- ・回収数は、「平日」が673票、「休日」が284票で、計957票となっている。

< 調査概要 >

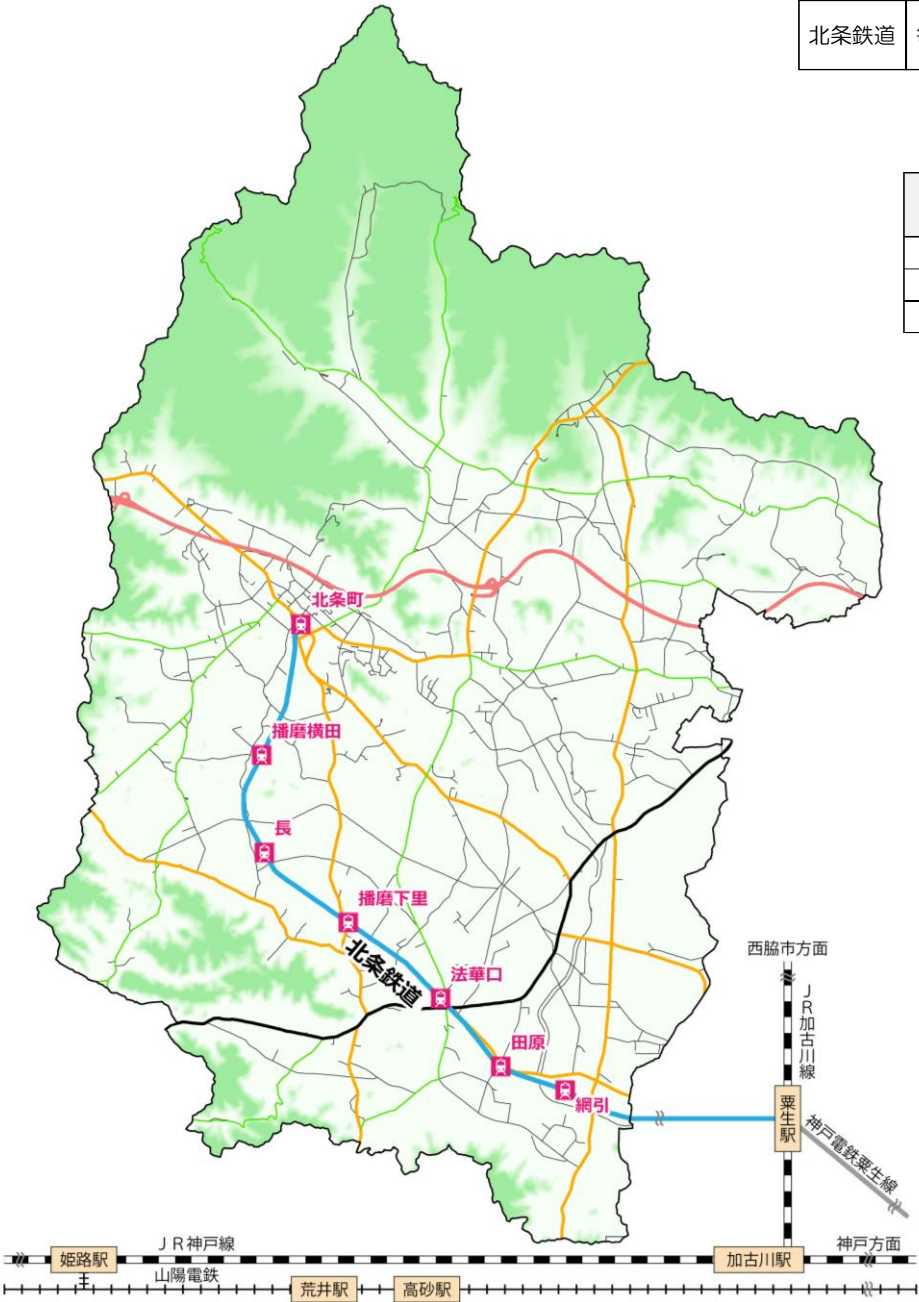
調査項目	調査日	調査時間
カウント調査	平日：令和4年7月13日（水） 休日：令和4年7月18日（月・祝）	始発から終発までの全便 （概ね5：30～0：00）
アンケート調査	計2日	

< 北条鉄道の概要 >

鉄道名	運行日	運行時間	運行本数
北条鉄道	毎日運行	平日：5：41～23：37	42便
		休日：5：39～23：37	34便

< 回収状況 >

平休	回答者数 （人）	縦構成比
平日	673	70%
休日	284	30%
合計	957	100%



3.2 調査結果

(1) カウント調査

① 乗降者数

- ・北条鉄道利用者は平日では874人、休日では502人となっている。駅別に利用者数を見ると、平日・休日ともに中心市街地に位置する北条町駅、他の鉄道と接続する栗生駅の起終点駅での利用が最も多くなっている。

< 平日 >

駅名	乗車	降車	合計
北条町	272	286	558
播磨横田	34	41	75
長	21	20	41
播磨下里	44	36	80
法華口	36	41	77
田原	29	28	57
網引	23	28	51
栗生	415	394	809
合計	874	874	1,748

< 休日 >

駅名	乗車	降車	合計
北条町	172	207	379
播磨横田	10	15	25
長	8	12	20
播磨下里	15	16	31
法華口	24	26	50
田原	11	14	25
網引	21	21	42
栗生	241	191	432
合計	502	502	1,004

② 駅間乗降者数

- ・北条鉄道利用者の駅間乗降者数は、平日では全体の60%、休日では全体の64%が北条町駅～栗生駅の利用となっている。

< 平日 >

平日		降車駅			
		北条町駅	中間駅	栗生駅	計
乗車駅	北条町駅	15 (3%)	169 (35%)	184 (38%)	
	中間駅	23 (5%)	0 (0%)	99 (25%)	
	栗生駅	122 (25%)	55 (11%)	177 (37%)	
	計	145 (30%)	70 (14%)	268 (50%)	

全体の60%が北条町駅～栗生駅の利用

< 休日 >

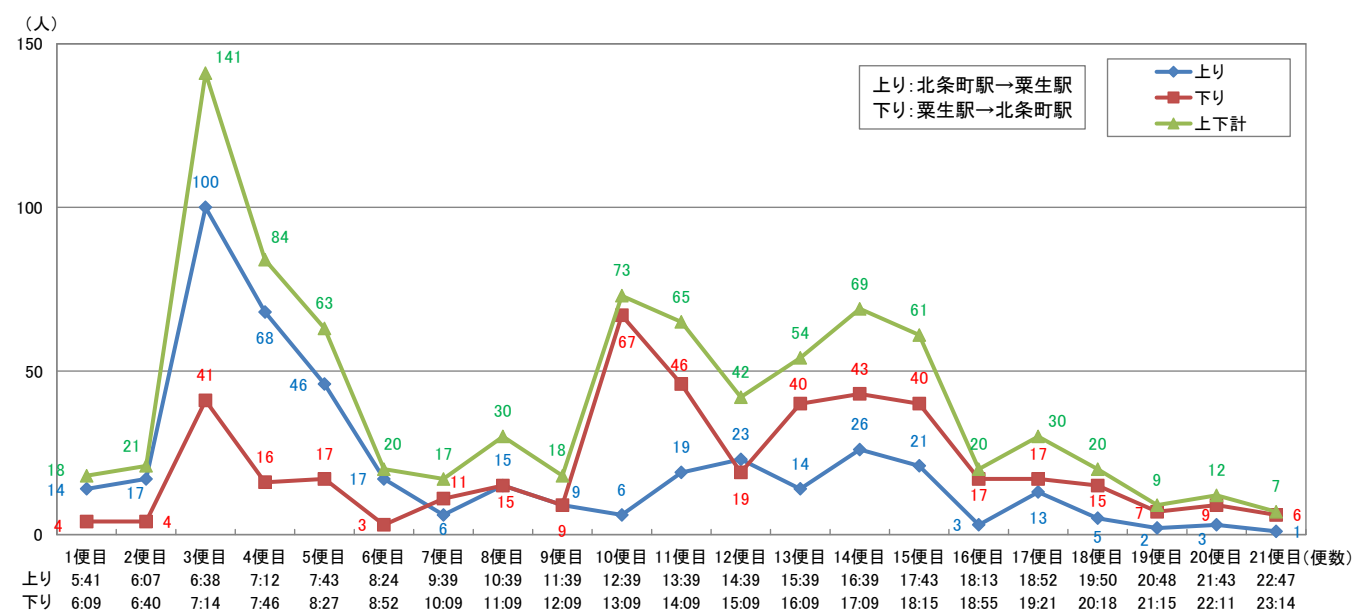
休日		降車駅			
		北条町駅	中間駅	栗生駅	計
乗車駅	北条町駅		20 (10%)	66 (31%)	86 (41%)
	中間駅	5 (2%)	0 (0%)	29 (14%)	34 (16%)
	栗生駅	69 (33%)	21 (10%)		90 (43%)
	計	74 (35%)	41 (28%)	95 (42%)	210 (105%)

全体の64%が北条町駅～栗生駅の利用

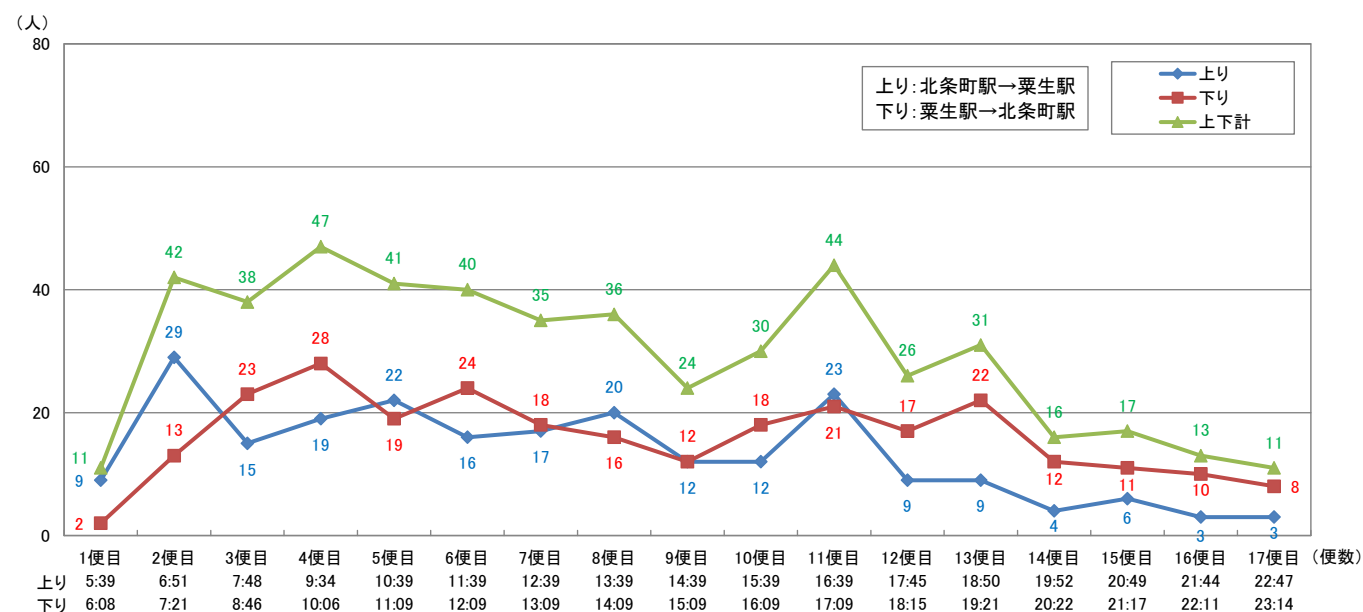
③ 便別利用者数

- 北条鉄道利用者は平日の上りでは朝の2便目の利用が特に多くなっており、下りでは朝の2便目や昼間の10便目（高校生が短縮授業であったことも要因）、夕方の13～15便目で多くなっている。
- 休日の上りでは朝の2便目や夕方の11便目、下りでは朝の4便目や夕方の13便目でやや多くなっているものの、日中においては、概ね均等に利用が見られる。

< 平日 >



< 休日 >

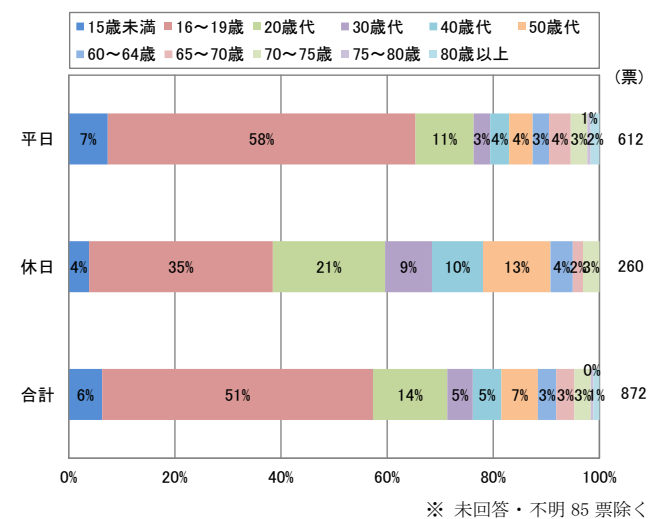


(2) アンケート調査

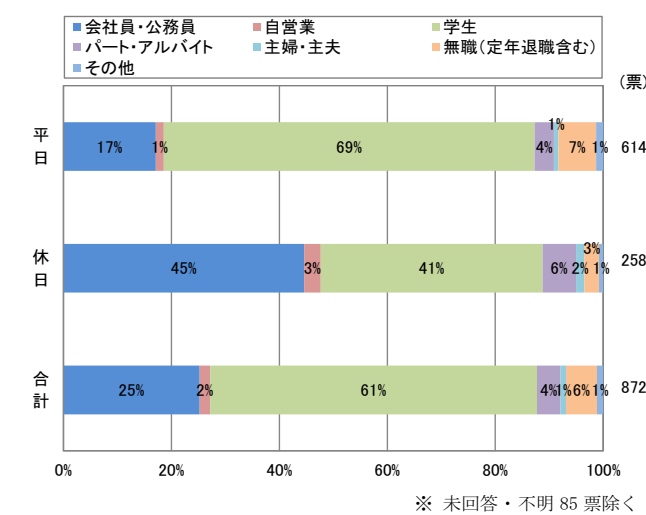
① 利用者の主な属性

- 北条鉄道利用者は半数以上が20歳未満となっており、特に平日においては中高生が通学で利用していることが分かる。休日でも20歳未満の利用が最も多くなっているが、20歳代～50歳代の利用も一定数見られる。
- また、北条鉄道利用者の職業は「学生」が多くなっているものの、休日では「会社員・公務員」も多くなっている。

< 年齢 >



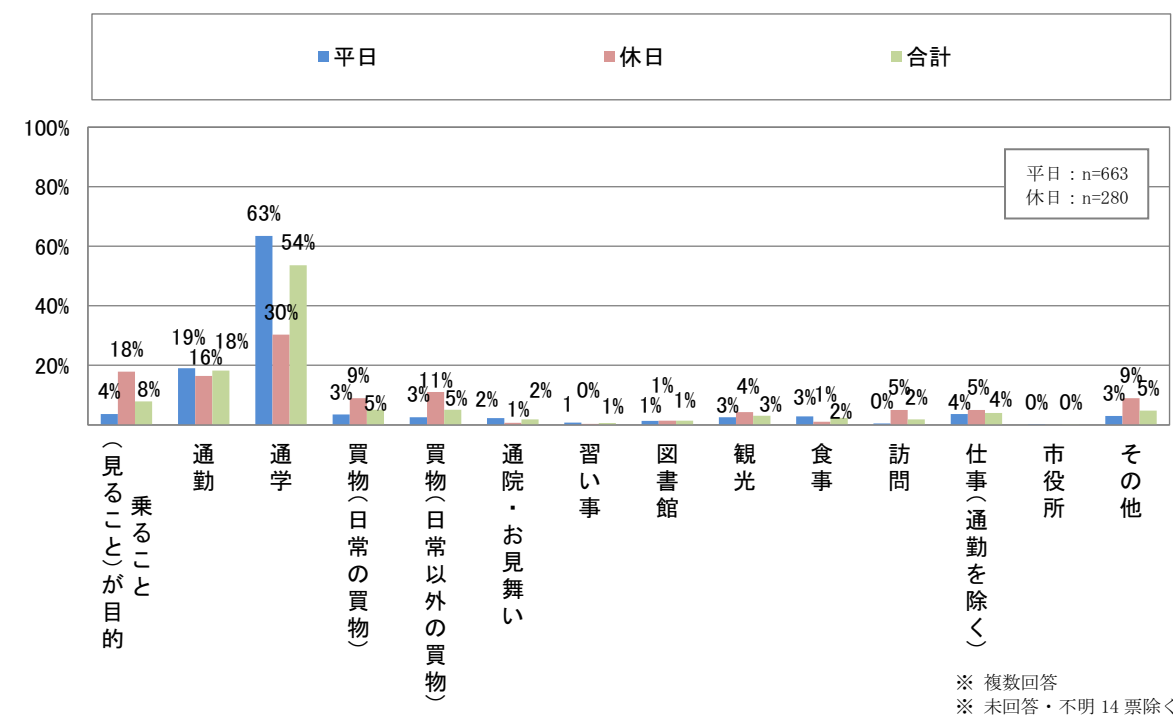
< 職業 >



② 移動目的

- 北条鉄道利用者の移動目的は、平日では「通学」目的での利用が最も多くなっている。休日においても「通学」目的で利用されているが、「乗ること（見ること）が目的」や「買物」など、娯楽目的での利用も一定数見られる。

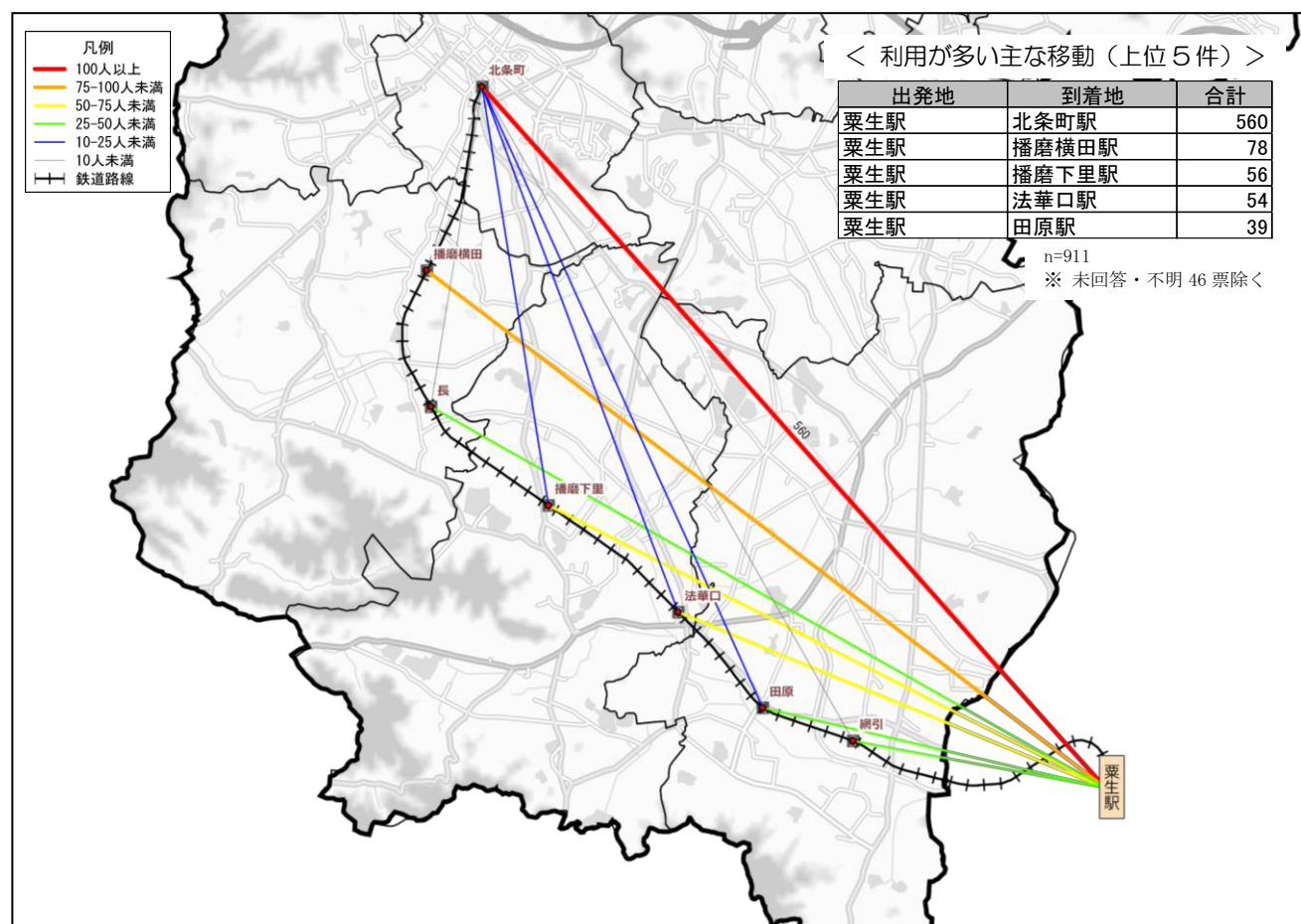
< 移動目的 >



③ 駅間の移動状況

- 北条鉄道を利用した移動状況としては、「神戸電鉄」「JR 加古川線」の乗り継ぎ駅である「粟生」駅を中心とした流動が多くなっている。

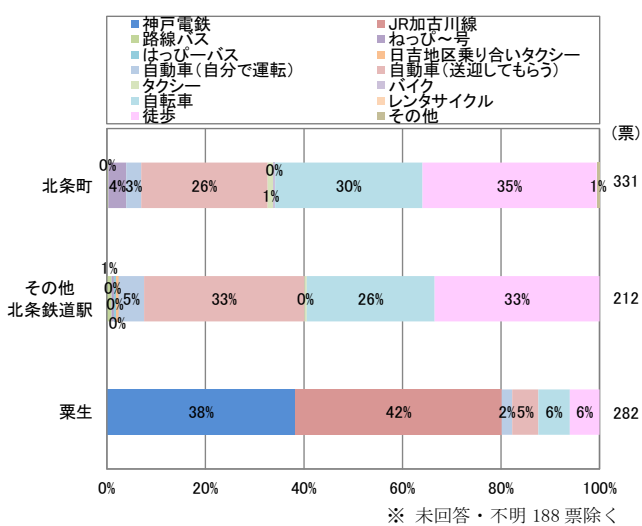
< 駅間の移動状況 >



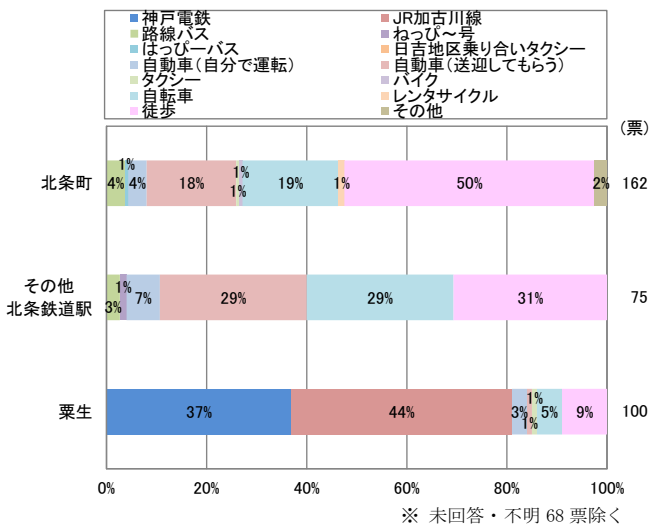
④ 北条鉄道利用前後の主な移動手段

- 北条鉄道利用者の鉄道利用前後に利用する主な移動手段は、北条町駅やその他北条鉄道駅では平日・休日ともに「自動車（送迎してもらう）」「自転車」「徒歩」の利用が多くなっているが、粟生駅では「神戸電鉄」「JR 加古川線」などの乗り継ぎ利用が多くなっている。

< 平日 >



< 休日 >

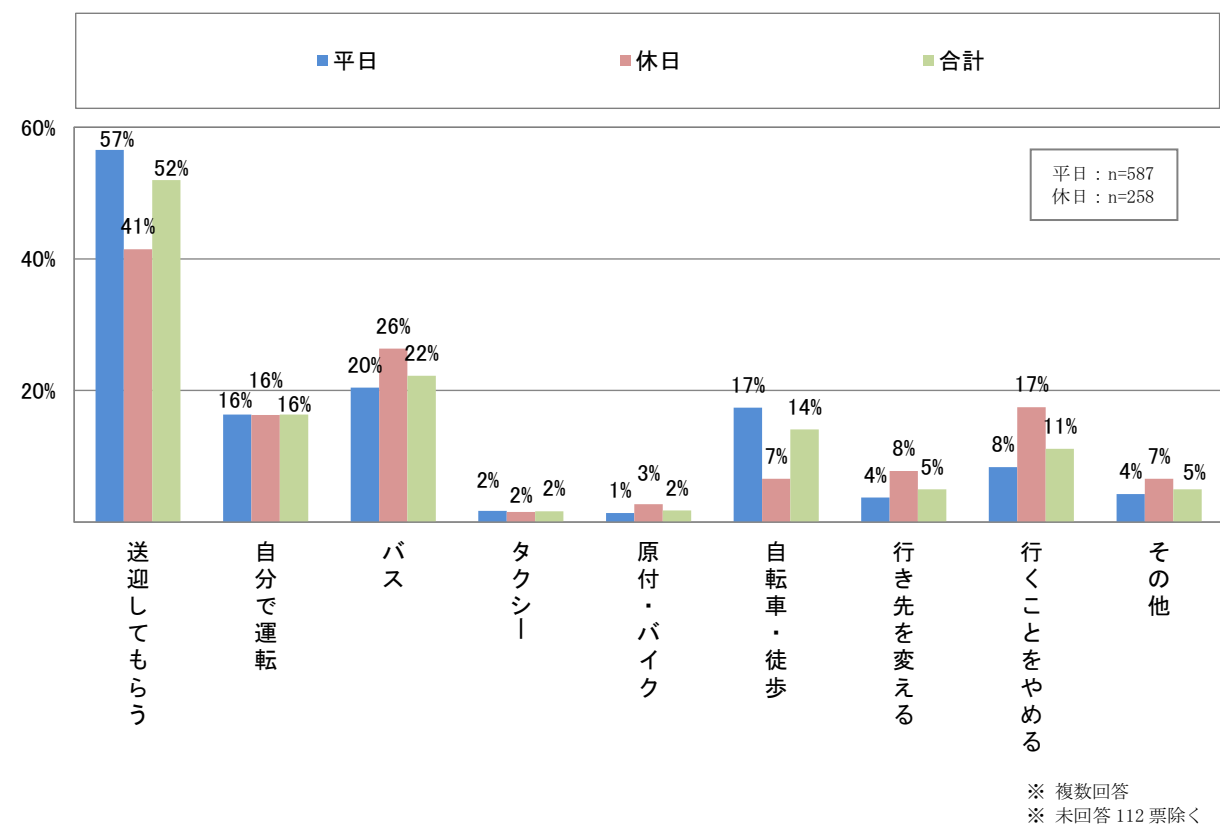


主な移動手段は、複数の回答がある場合に、輸送力の高い手段（鉄道→バス→自動車→二輪車→自転車→徒歩）を選んでいます。

⑤ 北条鉄道が無い場合の代替手段

- 北条鉄道利用者の鉄道が無くなった場合の移動方法は、半数以上の方は「送迎してもらう」という回答が多かったものの、平日では「バス」「自転車・徒歩」、休日では「バス」「行くことをやめる」といった回答も多くなっている。

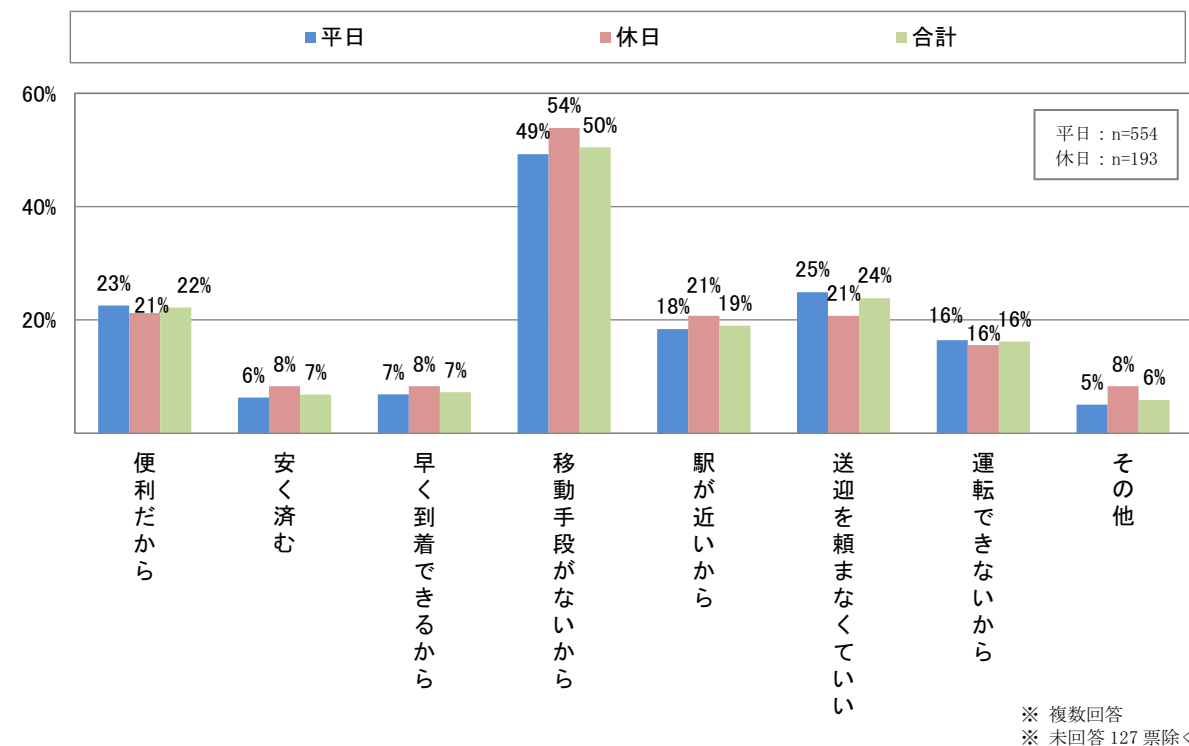
< 北条鉄道が無い場合の代替手段 >



⑥ 北条鉄道を利用する理由

- 北条鉄道利用者の鉄道を利用する理由は、半数以上が「移動手段がないから」という回答が多くなっているものの、平日・休日ともに「送迎を頼まなくていい」「便利だから」「駅が近いから」「運転できないから」といった回答も多くなっている。

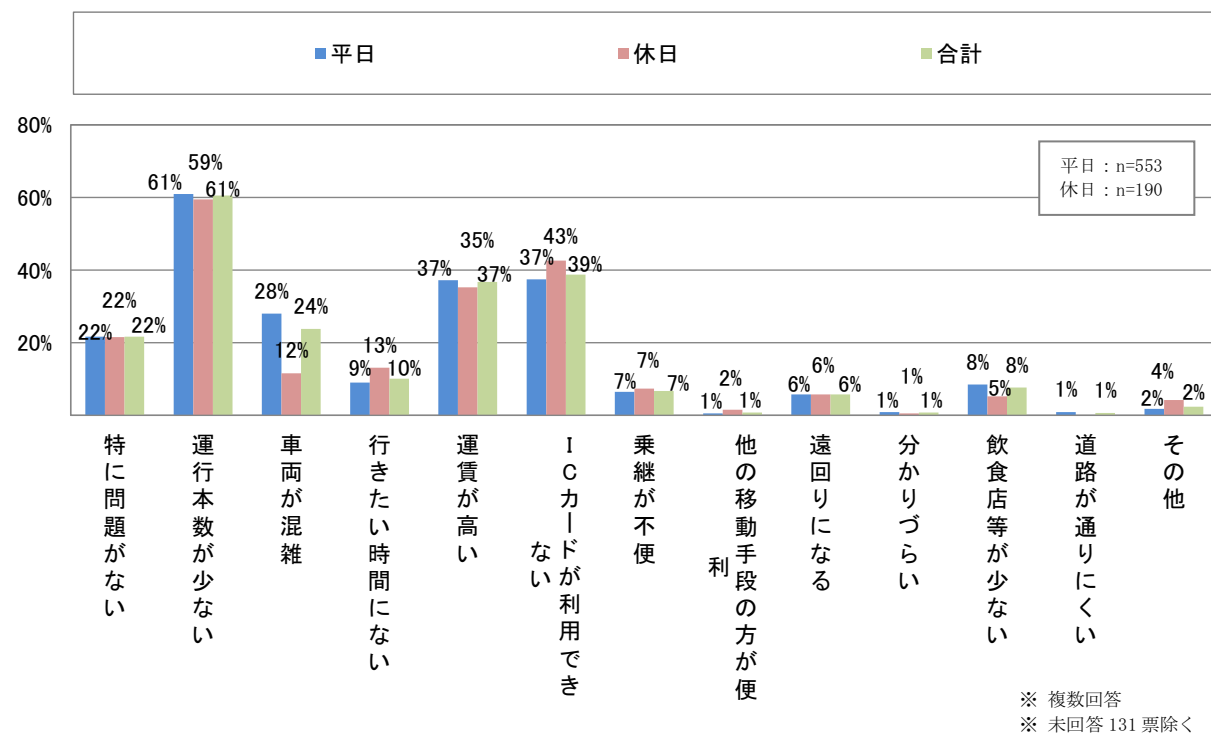
< 北条鉄道を利用する理由 >



⑦ 北条鉄道利用にあたる問題点

- 北条鉄道利用者の北条鉄道利用にあたる問題点は平日・休日ともに同様の傾向であり、「運行本数が少ない」という回答が最も多くなっているが、「運賃が高い」「ICカードが利用できない」という回答も多くなっている。

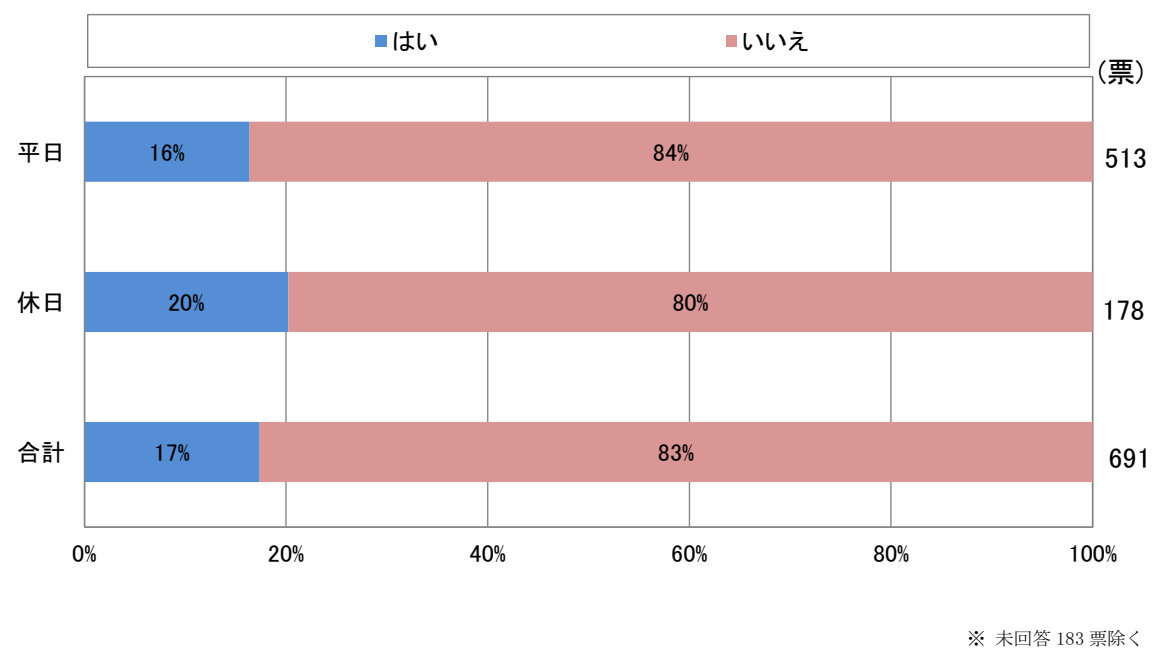
< 北条鉄道にあたる問題点 >



⑧ 声掛けで北条鉄道を利用しそうな家族・知人

- 北条鉄道利用者の声掛けで北条鉄道を利用しそうな家族・知人の有無は、約 2 割の方が利用してもらえそうという結果となっている。

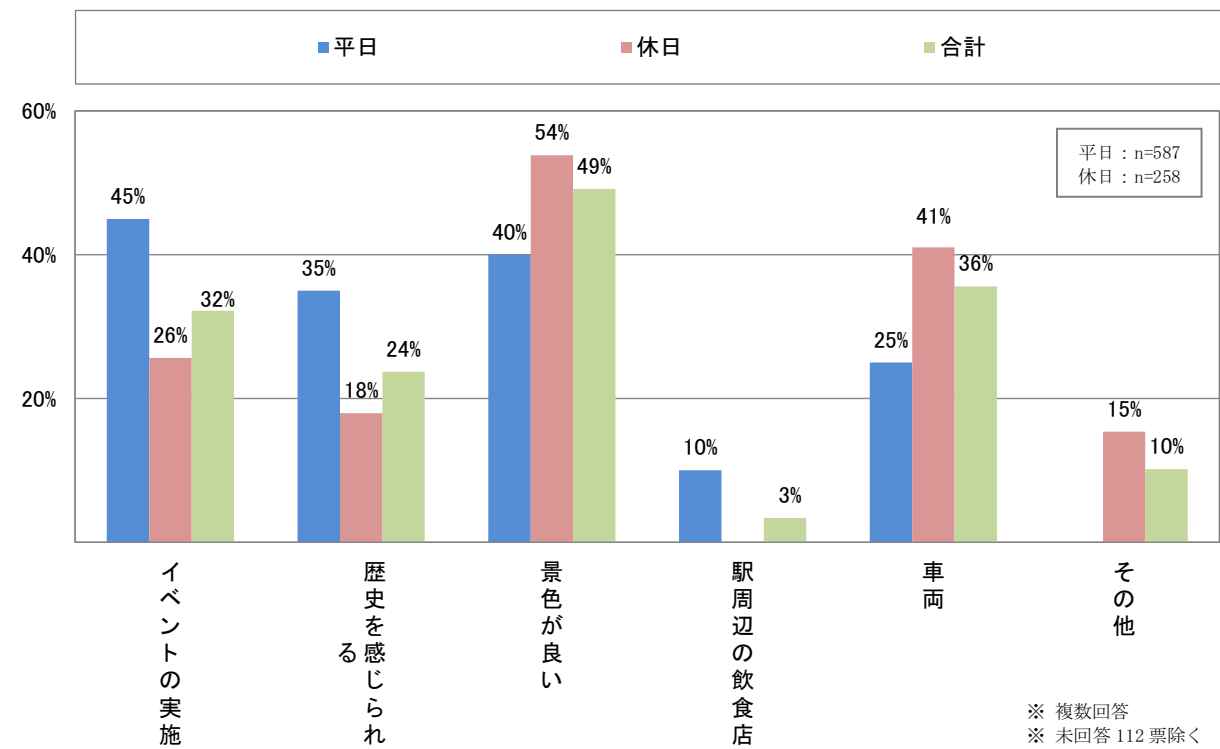
< 声掛けで北条鉄道を利用しそうな家族・知人 >



⑨ 北条鉄道の魅力

- 北条鉄道利用者の北条鉄道の魅力は、「景色が良い」という回答が多くなっているが、平日では「イベントの実施」、休日では「車両」という回答も多くなっている。

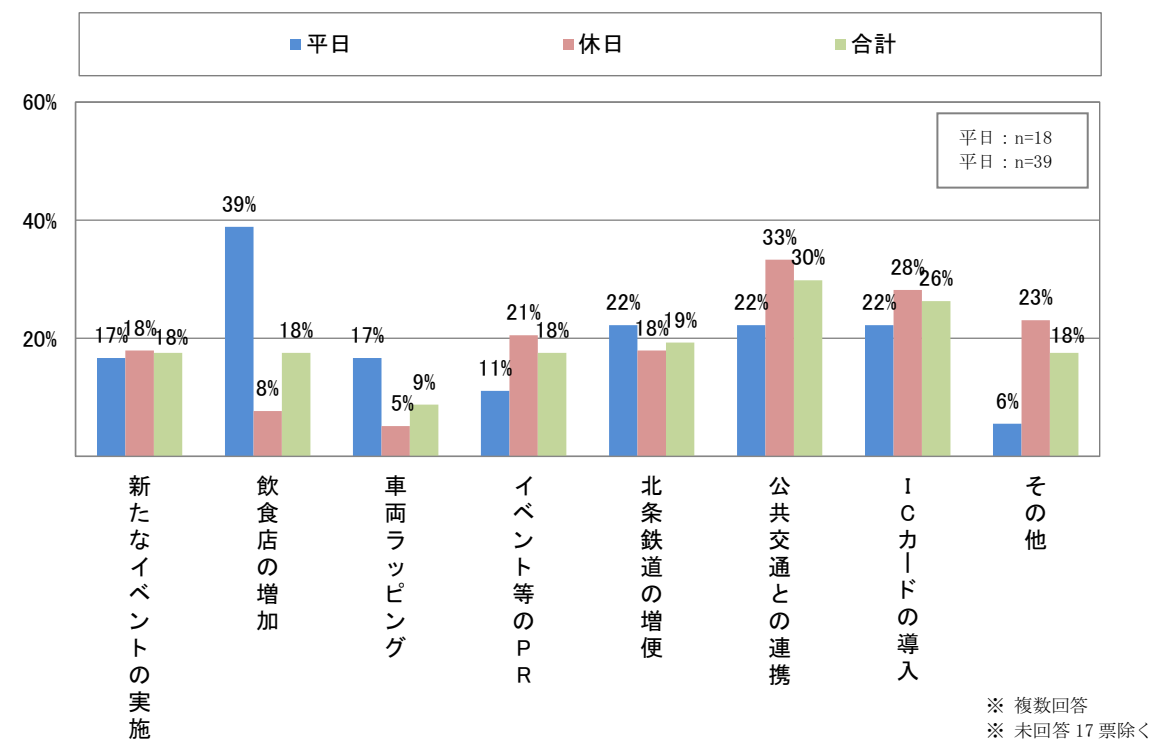
< 北条鉄道の魅力 >



⑩ 北条鉄道の魅力が向上する方策

- 北条鉄道利用者の北条鉄道の魅力が向上する方策は、「公共交通の連携」という回答が若干多くなっているが、平日では「飲食店の増加」、休日では「ICカードの導入」という回答も多くなっている。

< 北条鉄道の魅力が向上する方策 >



第4章 高齢者利用者アンケート調査結果

4.1 調査概要

- ・本調査は、高齢者の移動状況や公共交通に対する意向等について把握することを目的として実施した。
- ・回収数は、「北条地区」が834票、「富田地区」が610票、「賀茂地区」が774票、「下里地区」が836票、「九会地区」が1,028票、「富合地区」が808票、「日吉地区」が561票、「宇仁地区」が307票、「西在田地区」が446票、「泉地区」が742票で、計6,946票となっている。

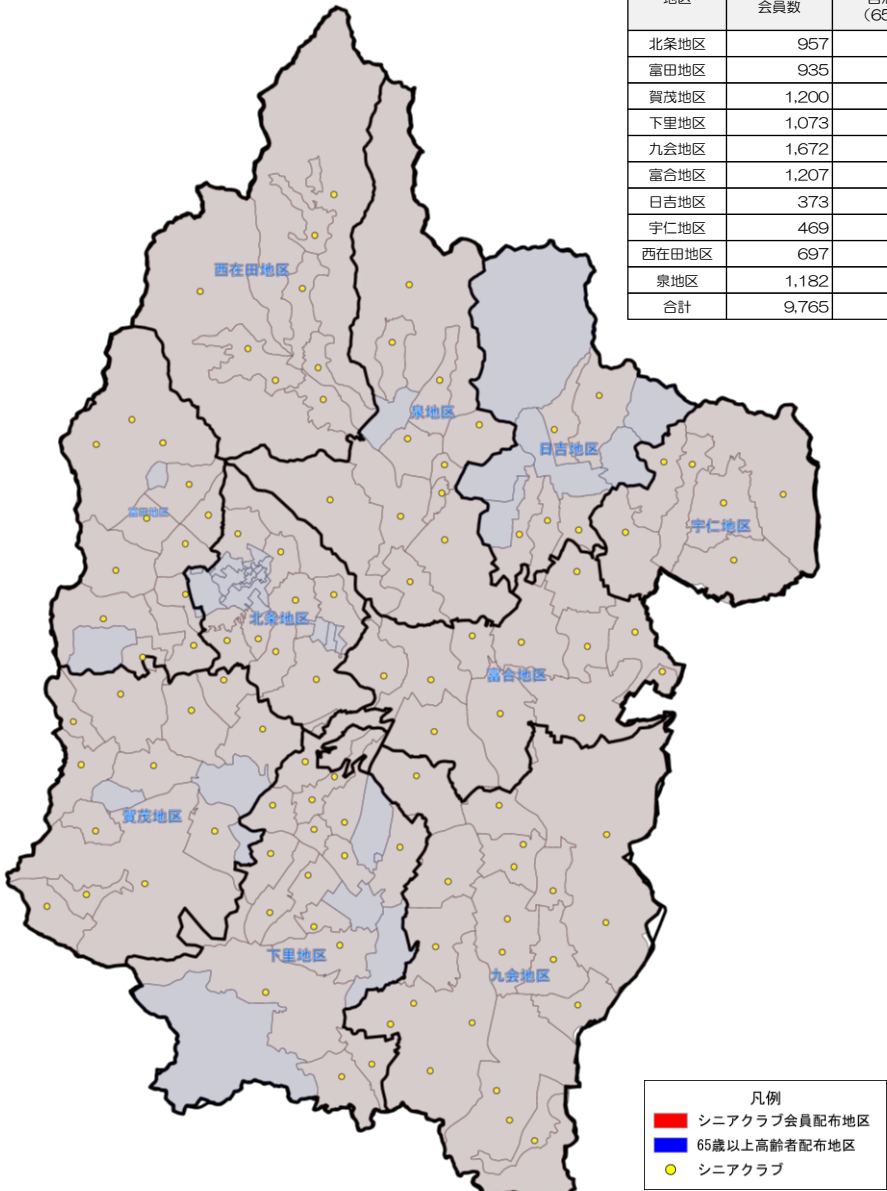
＜ 調査概要 ＞

調 査 日	令和4年7月15日（金）〔配布〕～令和4年8月12日（金）〔回収〕
調査対象	①シニアクラブ会員 ②65歳以上の高齢者（シニアクラブのない自治会のみ）
調査方法	①7月15日（金）開催のシニアクラブ理事会にて理事に手渡し、理事から各シニアクラブ会長、各シニアクラブ会長から会員へ配布し、郵送にて回収 ②郵送により配布・回収

＜ 高齢者アンケート調査票配布地区 ＞

＜ 系統別の回収状況 ＞

地区	シニアクラブ 会員数	シニアクラブのない 自治会人口 (65歳以上)	調査票配布数			回収数	回収率
			シニアクラブ 会員	自治会	計		
北条地区	957	1,762	957	1,047	2,004	834	42%
富田地区	935	88	935	52	987	610	62%
賀茂地区	1,200	75	1,200	45	1,245	774	62%
下里地区	1,073	322	1,073	191	1,264	836	66%
九会地区	1,672	-	1,672	-	1,672	1,028	61%
富合地区	1,207	-	1,207	-	1,207	808	67%
日吉地区	373	544	373	323	696	561	81%
宇仁地区	469	-	469	-	469	307	65%
西在田地区	697	-	697	-	697	446	64%
泉地区	1,182	71	1,182	42	1,224	742	61%
合計	9,765	2,862	9,765	1,700	11,465	6,946	61%

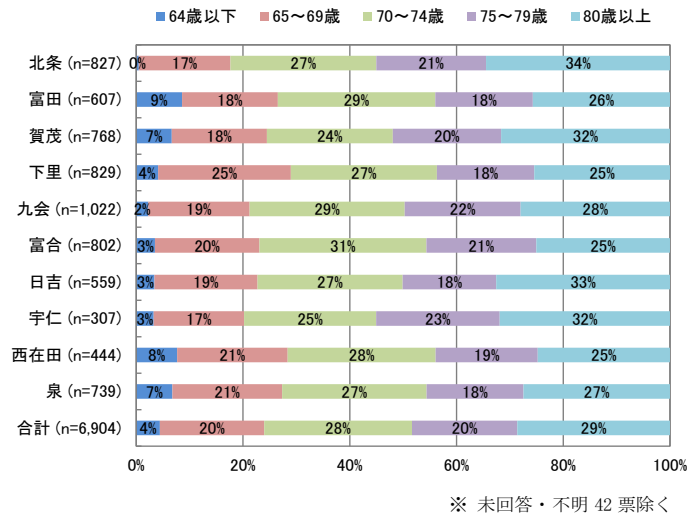


4.2 調査結果

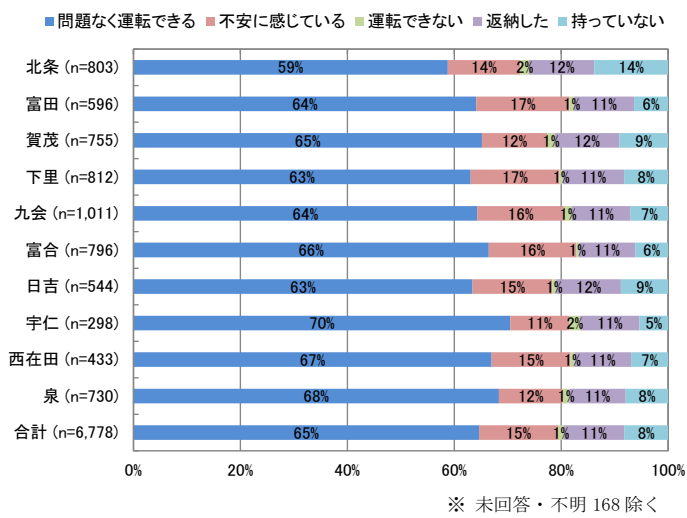
(1) 回答者の主な属性

- ・高齢者の年齢は、「64歳以下」以外の年代が概ね均等に回答されている。
- ・また、高齢者の運転免許保有状況及び運転状況は、半数以上が「問題なく運転できる」と回答しているものの、運転免許を持っているが、運転に不安に感じている方や免許を返納した方も若干見られる。

＜ 年齢 ＞



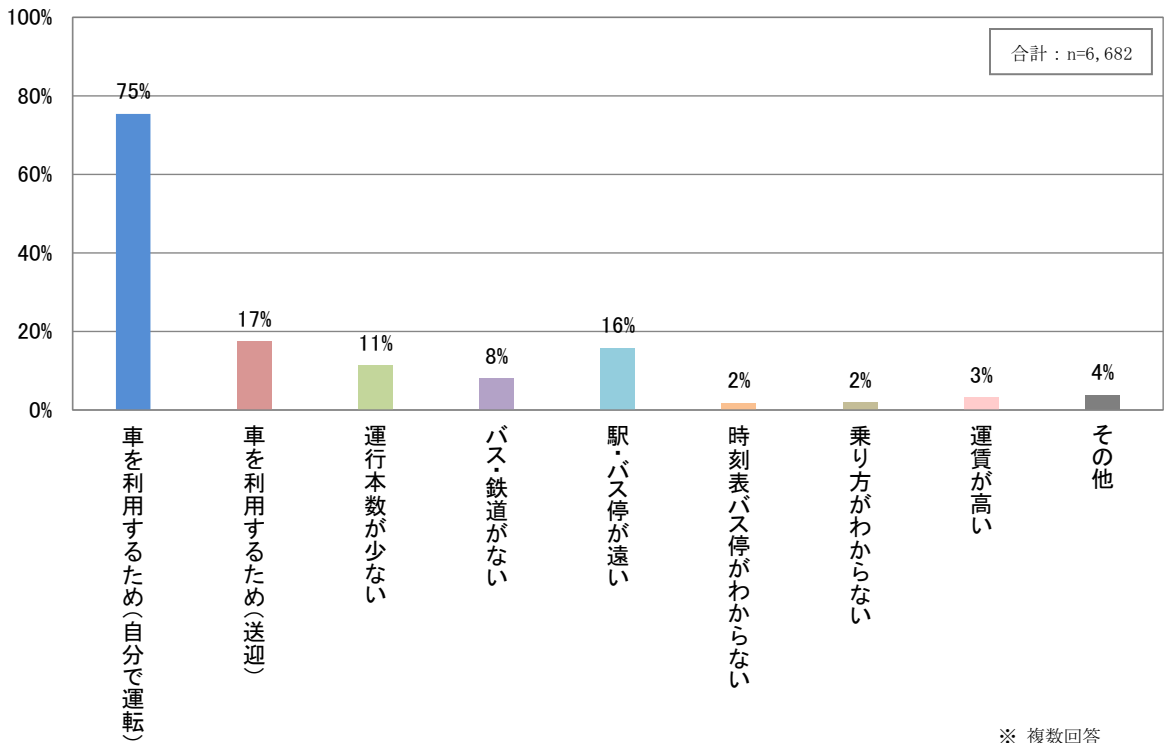
＜ 運転免許保有状況及び運転状況 ＞



(2) バス・鉄道を利用しない理由

- ・高齢者のバス・鉄道を利用しない理由は、半数以上が「車を利用するため（自分で運転）」と回答している。

＜ 利用しない理由 ＞

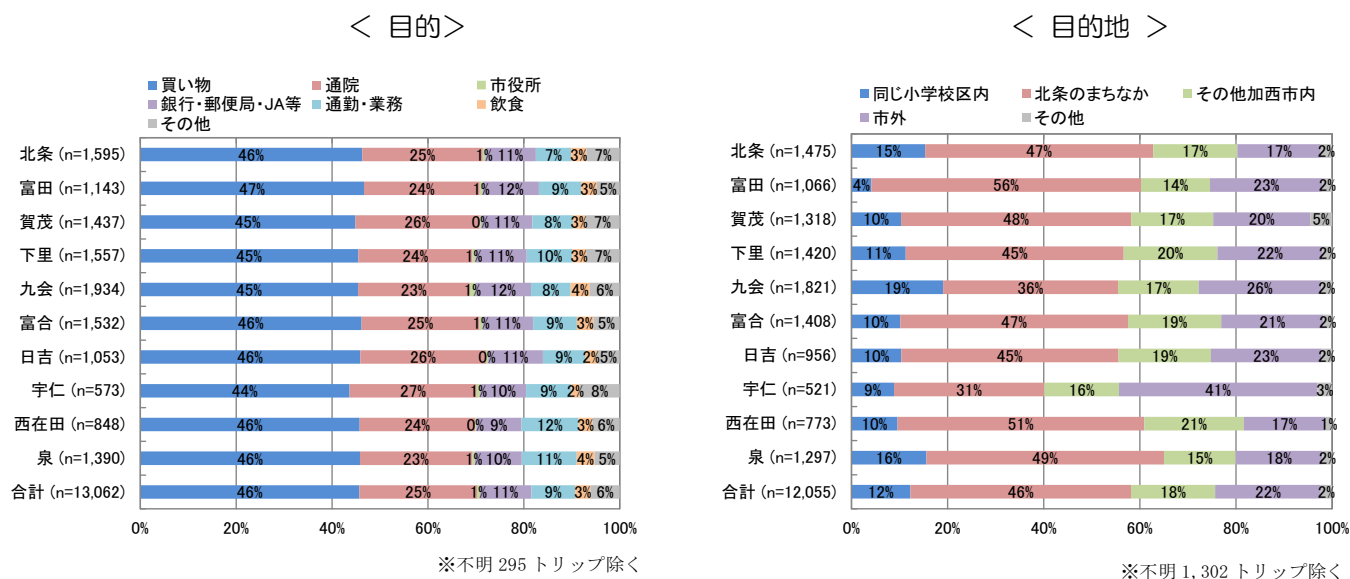


※ 複数回答
※ 未回答・不明 264票除く

(3) よく行く外出先

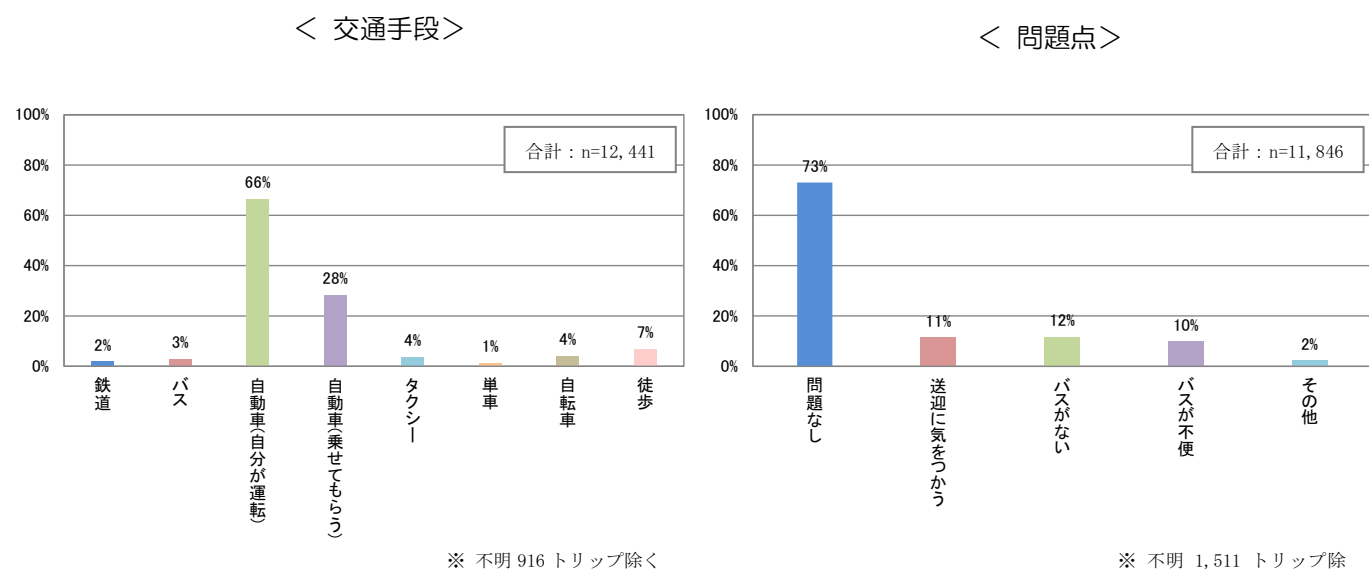
①目的・目的地

- ・高齢者の外出する目的は、「買い物」や「通院」の回答が多くなっている。
- ・また、高齢者の外出先は、「北条のまちなか」という回答が多くなっているが、「宇仁地区」では加東市が隣接していることなどもあり、「市外」の回答が最も多くなっている。



②主な交通手段・移動時の問題点

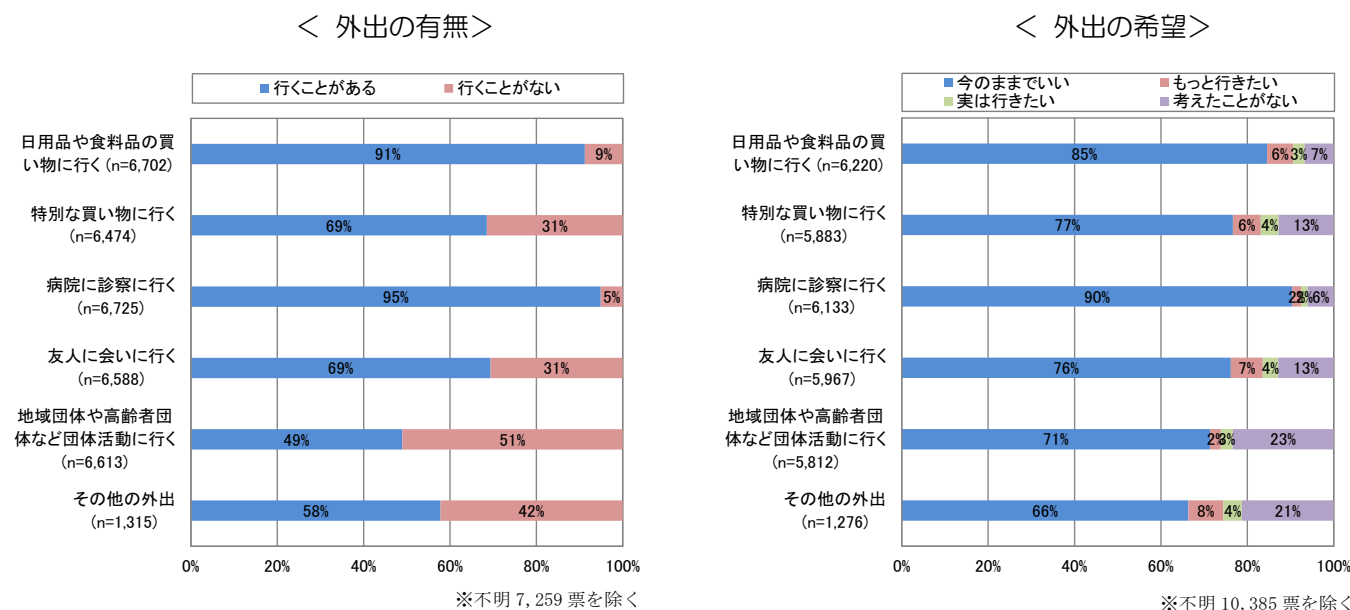
- ・高齢者の外出時の主な移動手段は、大半が自動車となっている。
- ・また、高齢者の外出時の問題点は、半数以上が「問題なし」となっているものの、「送迎に気をつかう」「バスがない」「バスが不便」という回答も若干見られる。



(4) 現在の外出状況

①外出の有無・外出の希望

- ・高齢者の外出の有無は、大半が「行くことがある」と回答しているものの、コロナ禍の影響もあって人が多く集まる「地域団体や高齢者団体など団体活動に行く」では「行くことがない」という回答が多くなっている。
- ・また、高齢者の外出に対する希望は、大半が「今のままでいい」という回答をしている。



②送迎してもらうことの有無・送迎の頼みやすさ

- ・高齢者の送迎してもらうことの有無は、大半が「ない」と回答しているものの、病院や買物などの生活に必須となる外出では、若干ながら「ある」という回答が多くなっている。
- ・また、高齢者の送迎の頼みやすさは、半数以上が「考えたことがない」と回答している。

